



2009年度 部報

力漕

Vol.17

WILD ROVER CREW

同志社大学体育会ボート部

力漕 vol.17



目次

「力漕」刊行に寄せて	1
決意表明	6
年間スケジュール	19
2009 年度戦績	21
エルゴ 2000T.T. ベスト表	42
2009 年度新人勧誘活動報告	43
2009 年度現役会計報告	48
現役特集	49
艇友会特集	55
他大学寄稿	72
卒業生の言葉	76
広告	85
編集後記	94

『力漕』刊行に寄せて

同志社大学体育会ボート部部長 岡本 博公

『力漕』の刊行を心から喜びます。

毎年この時期は、年度の終わりで、学生は試験に一喜一憂する時期です。この試験が終われば、体育会各部は新年度の飛躍を期して、基礎力の充実を図ることになります。練習を重ねて、しっかり基盤をつくって、新しい年度で大きな花を開かせてほしいと思います。

先だって NHK の「サンデースポーツ」をみるともなくみていましたら、バンクーバー五輪最年長の選手と言うことで、スケルトンの越さんという方（多分そうだったと記憶していますがややあやふやです）の練習風景が紹介されていました。そのなかで、彼は、「練習をしていると、ぱっと頭のなかに電気がつくことがある」という言い廻しで、自分で納得のいく瞬間があるということを話していました。「それは小さなものなんですがね」と付け加えながら、楽しそうでした。

「ぱっと電気がつく瞬間」というのは、大学の学びのなかにもあって、あるいは社会生活のあらゆる場面で「ああそうだったのか」という瞬間はあり得るはずであって、そして、これは大変嬉しいものであり、だから、こうした経験をどれほど豊かにしてきたかが、人の感性を育て、あらたな努力を生み、骨柄を太くしていくものなのかもしれません。

いまさらながらですが、なるほどスポーツにおける修練というのは、ひとをそだてることなのだ、ということを痛感した次第です。教育としての大学体育会に思いをめぐらすことのできる機会でした。

部員の皆さん、どうか、ボート部の練習で、そして勉学で、「ぱっと頭の電気がつく瞬間」をいっぱい経験してください。

最後になりますが、日頃からボート部へ、物心両面でご支援いただいております諸先輩の方々へ心からお礼申し上げます。ご期待に応えられるよう、ボート部の活躍を祈念します。

監督 目片 雅喜

艇友会の皆様、現役部員のご父兄の皆様、日頃はボート部の活動をご理解いただき、物心ともご支援ありがとうございます。心より、厚くお礼申し上げます。

さて、2009年のシーズンは来る2011年の創部120周年に向け、エイトでレースに挑戦しました。

開幕戦の朝日レガッタ(琵琶湖)5位、関西選手権(浜寺)2位、そして最終目標のインカレ(戸田)は予選敗退という結果となりました。千原キャプテンを中心に、インカレ決勝進出をスローガンに日々練習を重ねましたが、結果としては力及ばず非常に悔しいシーズンになりました。特にインカレでは、付フォアで一歩一歩ですが戦績を上げてきた事が、脆くも打ちのめされ、他大学との力量の差を改めて思い知ることになりました。出漕クルーこそ少ないエイト種目ですが、各クルーのレベルは「対校」に相応しく、高いものでした。

一番残念なのは、朝日レガッタの時からスタートでの出遅れが課題と分かりながらも克服できず、関西選手権では立命館とのスタートでの艇差がゴールまで詰まらず2位、インカレの敗復敗退も東北大との差はスタート直後300メートルでのものでした。クルーの強みと弱みを的確に受け止め、強みを伸ばし弱みを克服するシーズンとなるよう、2010年は園田キャプテン、高橋コーチを中心に頑張って練習をして、結果を出していきたいと考えています。体力、体格他で他大学に見劣ることが多い現状ですが、同じ大学生との争いですから、強い意志での練習で、インカレのエイトに拘ってチャレンジしたいと考えます。

最後になりますが、部員不足や合宿費用等々の課題が山積みの現役部員ですが、自分達の目標に向かい練習に打ち込んでいます。練習、レースを問わず、現役部員が自分の目標に向かい頑張る姿を、艇友会及びご父兄の皆様が見に来ていただき、励ましの言葉を掛けていただくことをお願い致します。

コーチ 高橋 育

私のコーチング理論 2010

私の役割は選手が勇気を持って『困難』に立ち向かえるようサポートすること。
私の役割は選手が自信を持って戦場へ赴けるよう技を伝える人間であること。
私の役割は選手が『道』からそれた時、進むべき方向へと修正すること。
私の役割は選手から信頼される人間であり続けること。

『この道を行けばどうなるものか危ぶむなけれ 危ぶめば道はなし
踏み出せば その一足が道となりその一足が道となる
迷わざ行けよ 行けばわかるさ』

困難から目をそむけるな。困難に抱きつけ。そうすれば必ず解決策は見つかる。そして成長した自分に出会える。

これが私のコーチング理論 2010

引用 アントニオ猪木『道』

コーチ 末廣 聖也

コーチとなり早くも一年が過ぎ二年目を迎えることとなります。昨シーズンを振り返ると、現役部員に対してコーチとしてのサポートが充分に行えていないと感じております。今シーズンは再度私の役割を見直し、少しでもボート部へ貢献できるよう励んで参りたいと感じております。

今年はエイトでインカレ決勝進出(ベスト4入り)を目標に掲げ、現役部員は日々練習に取り組んでおります。この目標に対して私は次のことを意識し、コーチとしてサポートを行っていきたいと考えます。

まずは私自身も部の目標を強く思い描き、プレイヤー・サポーター同志でベクトルを合わせ、必ず目標は達成できると自信を持ち、現役との信頼関係を築き上げ練習に取り組んでいきたいと思います。今まで以上に組織力を結集し、ボート部全体のレベルアップを図っていきたいと考えております。

また、現役部員にとって道標となる存在になりたいと考えます。今まで私が培ってきた経験やノウハウを少しでも現役に伝え、目標に対して迷わず練習に打ち込める環境を作りたいと考えております。

今年は今後のボート部にとって重要なシーズンとなり、必ず結果を出さなくてはなりません。簡単ではないことはわかっていますが、一人ひとりが目標を強く思い描き、ド真剣に本気で練習に打ち込めば、必ず達成できると思います。

まだまだコーチとして未熟で、至らない点も多々あるかと思いますが、今後もOB・OGの皆様のご協力は不可欠と考えておりますので、今後とも暖かいご支援、ご声援の程、宜しくお願ひ申し上げます。

コーチ 川口 正嗣

昨年のインカレは、10年ぶりの対校エイトでした。結果は、ご存知であると思います。もちろん、今年もエイトで出場します。

昨年は、朝日・関選・インカレでスタートの鈍さ・かたさがあり、半艇身差で500mのトップ通過を他のクルーに奪われ、そのままゴール、といった場面がありました。総会で、主将園田の発表であったように、インカレ・全日での各レースの500mトップ通過クルーの約7割が、そのレースを1位でゴールしているようです。このデータから、スタートが重要であることは明らかです。このスタートの部分を改善していきます。

2010年8月22日に、現役、OB・OG、監督・コーチ陣が一緒になって喜びあえるようにサポートをしていきます。

最後になりましたが、OB・OGの皆様、今年度もご支援よろしくお願い致します。ぜひ、会場に足を運んで応援に来てください。待っております。

決意表明

新4回生



主将 園田 真大

同志社大学 商学部 商学科

熊本学園大付属高校出身

身長 178cm 体重 78kg

どうとう私も主将になった。五ヶ月程経ったが、主将となりチームのことを見渡すと今まで見えていなかったものが見えてきている。

私の思う強いチームとは、「底抜けに明るく元気があり、艇速＝勝利に対し貪欲でバカになり突き進んでいくチーム」である。

バカというのは、何も考えずにという意味ではなく一生懸命という意味で、私の知っている強い選手、団体は必ず当てはまっている。そして今の部に足りないことでもある。

今シーズンは私のボート人生の集大成。私の持っている力すべてを同志社大学ボート部に注ぎます！



副将 菊池 修一朗

同志社大学 社会学部 社会学科

唐津東高校出身

身長 170cm 体重 75kg

自分のために頑張ることは当たり前です。自分のためなのですから。しかし、もっと大きなものを背負ってみるとどうでしょうか。たとえば仲間、家族、そして同志社大学ボート部を。

「同志社の名を背負うに足る人間になる」、これを心の中心に据えると、不思議と力が湧き、奮い立つものです。「自分ひとりのため」など軽いもの。もっと大きなものを背負ってこそその同志社オアーズマンです。そして私は、その手本となれるように力を尽くしたいと思います。ご支援、ご声援の程どうぞよろしくお願ひ致します。



主務 今関 将太

同志社大学 社会学部 メディア学科

千葉県立成東高等学校出身

この原稿を書く前に1回生の時の力漕を読み返してみた。そこには漕手を続けられなくなった悔しさとマネージャーになることへの決意を語る自分がいた。今、私は最上回生となり主務としても2年目を迎えている。引退までの残り数ヶ月間を現状に満足し成長を止めてしまうのならば、あの時の自分に会わせる顔がない。漕手にとって戦うべき相手とは周りの部員や他大学のクルーであるが、マネージャーにとっての戦うべき相手は自分自身であると私は思う。妥協することを決めるのが自分自身なら、諦めずに続けることを決めるのもまた自分自身である。ならば立ち止まって迷ったとしても最後は必ず後者を選ぶ——そんな自分であります。マネージャーという道を選んだ自分に対する覚悟である。その覚悟がきっと部を強くすると私は信じている。

今まで自分を支えてくれた同回の仲間たちや先輩方に恩返しをするためにも、残りの現役生活全てをかけてボート部のために全力を尽くしたい。

最後になりましたがOB・OGの皆様、主務としてこの一年間大変お世話になりました。まだまだ未熟者でご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、最後まであたたかいご指導・ご声援の程よろしくお願ひいたします。



会計 森福 将之

同志社大学 商学部 商学科

京都市立西京高等学校出身

ボートにスター選手は不用とはよく言われることですが、もちろん僕はスター選手などという言葉から到底かけ離れた漕手でした。しかし、ボートにスターは必要ないのです。ボート部ではスターでなくても輝けるのです。

僕は今シーズンから身体の故障と部の状況から戦線を離脱しました。最初は何をして良いか分からず、負い目を感じる毎日でした。辛い日々が続き、こんなボート部生活ならもういいやと思ったことも正直何度もありました。しかし、1回生の時、近江ランを走りながら「もう絶対やめてやる！！おれは陸上部じゃない！」と思っていたあのとき僕を支えてくれたのと同じように、同期の仲間との他愛もない話や、後輩との

会話がいつも支えになっていました。今後、このような仲間に恵まれることがあるのか。たとえあつたとしても（勿論、あることを望みますが）、僕は今、この場所で一緒に暮らすボート部の仲間をかけがえのない財産として、誇り続けます。そのために部の漕ぐこと以外の全てに全力で取り組みます。そして、引退の前に、この誇りにインカレのメダルの話を加えたいと思います。



学連 田中 克弥
同志社大学 商学部 商学科
洛南高等学校出身

瀬田で迎える冬も今年で最後となり、とうとう最高学年として部を引っ張っていく立場となりました。昨年は朝日レガッタを最後に漕手生活を終え、学連としてのマネージャー生活が始まりました。新人ナックルから加古川レガッタまでさまざまなレースの運営に携わさせていただいて感じたことは、大会は目に見えない本当に多くの人たちに支えられて初めて成り立つということです。そのような人たちに対して感謝の気持ちだけは絶対に忘れてはいけないということを学びました。今年は関西学連を関東に負けない最高の組織にします！学連は同志社大学ボート部とは別の組織ですが、自分が学連で最高の仕事をすることで同志社大学ボート部の発展に繋がることを信じて全力で頑張ります！



学連 打谷 晃
工学部 機能分子工学科
福井県立敦賀高等学校出身

今年ついにボート部最後の年になった。自分は、大学院入試のため、すでに艇を降りた。昨年まで、対校クルーに乗せてもらっておきながら、こんな中途半端なことをしていいのか迷ったが、色々な人と話して自分の将来の夢をとらせてもらった。今は男子マネージャーとして部に在籍している。出来ることは限られてくるかもしれないが、今年自分達が挑戦し、惨敗した8+で今のメンバーが勝てるよう、そしてボート部の目標である120周年で8+で勝つという目標に少しでも貢献できるよう考えて行動したい。それが僕が今までお世話になったボート部へのせめてもの恩返しだと思っている。



木下 啓史
同志社大学 経済学部 経済学科
履正社高等学校出身
身長 180cm 体重 75kg

昨年も様々な経験をしました。朝日、インカレ、全日本選手権は付きフォアで出場し、シーズン最後の試合である加古川ではシングルスカルで出場しました。特に全日本選手権のフォアでは上位クルーと乗り、新しい感覚を身につけることができたと思っています。また、加古川のシングルスカルでは後輩と同回に大差で負け、3回生とは思えない自分の未熟さを痛感しました。1回生と2回生は成長の年、3回生からは結果を残す年だと自分の中で決めていました。しかし、3回生であった昨年、誇れる結果を残すことができませんでした。そして、ついに自分も最上回生になりました。今年がラストチャンスです。結果を示せる残された唯一の年です。もう時間はありません。残された時間をどう使えばいいか、それはすぐにわかっています。だから自分は行動します。練習します。そして強くなります。

願うだけでは叶わない、思うだけでは届かない、そんな願いを叶えるために、僕はとにかく練習します。



木下 伸也
同志社大学 工学部 エネルギー機械工学科
関西大倉高校出身
身長 184cm 体重 80kg

去年はあまり良い結果を残すことができず、最後のレースでは自分の弱点が露骨に出てきました。なので、今年はその弱点を克服し、次のシーズンへと頑張っていきたいと思います。そして、8月には笑顔で引退できるよう頑張りたいと思います。



西本 孝志
同志社大学 工学部 エネルギー機械工学科
石川県立金沢泉丘高校出身
身長 172cm 体重 76kg

これが最後の1年になります。
3回生になっていろいろな体験をすることができました。その中で感じたことは、や

っているつもりじゃ絶対に何も得ることはできないということです。

今、書いたことが今の自分自身にも本当に理解してそのようにならぬよう行動できているかはかなり疑問な部分もあるので、この最後の1年間ではすべての面においてこのやっているつもりの状態から抜け出せるように頑張りたいと思います。



福重 太郎

同志社大学 工学部 エネルギー機械工学科

福岡県立久留米高校出身

身長 172cm 体重 55kg

ついに最上回生になり、最後の年になりました。昨年のインカレは対校エイトに乗りました。結果は予選敗復で敗退という散々なものでした。僕は本当に決勝までいけると信じていました。しかし、そのような結果でした。試合は変わりますが、毅コーチの仰った「『負けて悔しいです』は聞き飽きた！！」という言葉が非常に印象に残っています。勝負の世界ですから結果を厳しく追い求めなければなりません。『悔しい』という言葉で示すのではなく、『勝利』という結果で悔しさは示さなければなりません。8月に笑えるようにクルーだけでなく、この部で一丸となって勝利を目指します。

今の自分があるのは監督やコーチの方々、先輩方、同回、後輩、マネージャー、OBの方々、そして両親のお陰です。その人々の支えがあって自分がここにいるということに感謝して、期待に応えようと思います。



統制 池田 ひかる

同志社大学 文学部 英文学科

京都府立嵯峨野高校出身

ついに最後の年となった。

辛い事もたくさんあったが、練習に励む漕手、一緒に頑張ってくれている同期や後輩マネージャーたちおかげで、今まで志高くマネージャー業に尽力できたのだと思う。これから後輩が主体的に動けるよう、サポートしてあげることが自分に残された役目だと思う。今やっていることが数年後のボート部にとって、プラスでない時が来るかもしれない。部の状況は日々同じなわけではないし、マネージャーは部の現状を把握して、その場に応じた対処をしていかなければと思う。私が統制になってからいくつか新しいことをやってきたけれども、それが今の部には合っていない、必要ではな

くなつた、または改善が必要と感じる時が来れば、変えればいいと思う。後輩マネージャーたちにも、保守的にならずに変化を恐れず、貪欲に部を強くする事に努めてもらいたい。就職活動が始まり、今までの大学生活を振り返ることが多くなつたが、思い浮かぶのはほとんどボート部のことばかりだ。そして「やつたことないからやる価値があるんでしょ。」という一言で何でも片付けてしまうアグレッシブな私に、よく同期や後輩マネージャーたちはついてきてくれたものだとしみじみ感心してしまう。みんなには本当に感謝しているけれども、お礼を言うのは引退する時までとておこうと思う。

残りの8ヶ月、1日たりとも無駄にせず、部員との時間を大事に過ごしたい。



艇友会 今井 文美

同志社大学 文学部 英文学科

京都府立嵯峨野高校出身

早いもので、

もう最上回生になりました。今まで普通にしてきた事が、あと数ヶ月しかないのでと思うととても寂しくなります。自分にできる事は何か。残せるものは何か。常に考えます。逃げてきた事に、向き合います。残された時間は少ししかない。だからこそ気を引き締めて、今までの自分からもう一步、二歩、三歩成長したいと思います。



学連 大澤 成美

同志社大学 政策学部 政策学科

埼玉県立熊谷女子高校出身

気が付いてみれば私ももう最上回生となりました。尊敬できる諸先輩方やかわいい後輩達に恵まれ、そして何より最高の同回生に巡り合えたこのボート部の部員として活動できるのも今年で最後になります。イベントがある度に、もう最後なのかととても寂しい気持ちになります。私は学連の女子部長をしており、関西の大会ではいつも運営側に回っています。そのため大会の時には部の方に関わることができませんでした。しかしその代わりに、学連の女子部長として様々な大会に関わることができ、自ら大会を作り上げていく難しさや達成感を多く学ぶことができました。今年も朝日レガッタ、ナックルレガッタ、関西選手権と大きな大会の運営に携わっていきます。今まで培ってきたスキルや経験をしっかりと後輩に引き継ぎ、次の世代にバトンタッチし

ていけるよう最後まで頑張ります。またマネージャーとして、真心を忘れずに精神的な面や金銭的な面から部を支えていきたいと考えています。残りわずかな時間を大切にして、そして最後の夏も笑顔で締めくくれるよう頑張ります



広報 奥 知里
同志社大学 政策学部 政策学科
滋賀県立石山高等学校出身

時間が経つのはあつという間で、もう最上回生になり5か月が経とうとしています。広報の仕事を任されてからは、10か月近くです。先輩の存在に安心しつつ後輩を指導していた昨年の自分とは打って変わって責任感が増してくる中で、在部している意味や価値がはっきりと見えるようになりました。しかし、まだ私には足りていない部分がたくさんあります。中でも「自信」が足りていません。まだ自分がやっていることに自信が持てず、つい引退された先輩を頼りにしてしまったり、同回生のマネージャーに聞いてみたり、人よりもワンテンポ行動が遅れることが度々ありました。よく言えば、慎重的で周りの意見も受け入れ協調的であるように見えます。しかし、迅速な仕事をするには自分に自信をもち、即座に対応することが大切です。

残りの6か月、自分のやっていることに胸を張って、迅速かつ慎重にマネージャー業を努めたいと思います。こういうことは当たり前のことですが、当たり前だからこそ見失ってはいけない、何度も唱えるべきことでもあります。私が好きな言葉で良く挙げる言葉が「初志貫徹」です。着々と力をつければ必ず報われる時がきます。今まで、先輩、同回生、後輩に教わってきたこと、自分が積み重ねた努力を惜しむことなく、最後に同志社大学ボート部に在部したことによって、自分がこうも自信が持てる人間に変われたと証明できるように、全身全霊ボート部に尽くしたいと思います。

新3回生



植田 義之
同志社大学 商学部 商学科
関西高校出身
身長 186cm 体重 83kg

去年のインカレでは付きフォアで3位になり、それなりの結果は残せましたが、今回のインカレでは敗復敗退という形であっけなく終わってしまい、部の目標に全く届

きませんでした。

今年から対校がエイトになったというのもありますが、支援してくださっているOB・OGの方々、いつも料理を作ってくれているマネージャーに申し訳ない気持ちでいっぱいでした。

私たち選手ができる恩返しは1つだけ…結果を出すこと。目標は達成するためにあるものです。感謝の気持ちを持って頑張ります。



加藤 駿
同志社大学 経済学部 経済学科
南山高校出身
身長 170cm 体重 68kg

ふと気がつけば、ボート部員として活動できる期間も半分を過ぎてしまいました。練習の最中は長い長いと思っていても、時が経つのは早いものです。悔いの残らないように2010年も漕ぎ倒したいと思います。



中村 康治郎
同志社大学 商学部 商学科
静岡学園高等学校出身
身長 177cm 体重 75kg

今年、色々な試合に出ましたが、結果は芳しいものではありませんでした。クルーの艇速に貢献出来なかったのは非常に残念です。個人的には頑張ってきたつもりでしたが、今思うとただの自己満足だったかもしれません。

しかし、無駄だとは思っていません。この努力が来年への礎となり、艇速の向上に繋がればと思っています。来年こそ、「使える」漕手になります。



畠田 聖
同志社大学 文化情報学部 文化情報学科
長崎県立口加高等学校出身
身長 178cm 体重 74kg

気が付けば川の上。月と星が輝く空の下でボートを漕いでいる。しかしそこには去年とは違う自分がいる。朝日、関選、インカレ、全日とどれも厳しいレースだったが、

対校の艇は得るもののがたくさんあり、成長を実感した1年だった。また、どんなレースでも1位でゴールすることは嬉しく、ボート競技にやりがいを見つけた1年でもあった。

今、私がだるい体を叩き起こして朝早く乗艇するのも、他の大学生が遊んでいる休みにエルゴを引くのも、すべて戸田のレッドカーペットを踏むため、全日本のメダルを首から下げるためである。そのためにも他大学への対抗意識、部員の中での対校意識をもって練習に励みたいと思う。



渋島 昌輝

同志社大学 文化情報学部 文化情報学科

洛南高等学校出身

身長 168cm 体重 60kg

この1年は本当に色々なことがありました。コックスへの転向、その仕事を覚えようとするもなかなかうまくいかず、減量、リバウンドの繰り返し、レースでの失敗など自分も大変な思いをし、他人にも迷惑をかけてしまいました。

この経験をいかに部内で、またその他のことでも活かしていくかが、これから自分が成長できるかどうかのポイントであると思います。何事にも責任を持ち日々努力していくことを心がけていきたいです。



体育会本部 伊豆川 奈美

同志社大学 商学部 商学科

福岡県立三池高校出身

私が今年1番印象に残っているのは全日本選手権の付き添いです。付き添い2人のマネージャーで限られた時間でいかに効率よく、漕手が試合に集中できる環境を作るかという難しさを痛感しました。1回生の時は先輩に付いて行くのに必死で、正直そこまで考える余裕はありませんでした。今振り返ると、この経験はとても貴重な経験で、試合でたくさんのこと教えて下さった先輩方には本当に感謝しています。

しかし、いつまでも自分が教えてもらう受け身の姿勢ではいけません。なので、これらの経験を生かして後輩に教えてあげられる、そして自分も成長しながら漕手をサポートすることで、自分自身も少しでも『感謝』されるような先輩になりたいです。



上田 菜保子

同志社大学 文学部 心理学科

同志社女子高等学校出身

これまで頼れる先輩達のことで、与えられた仕事をこなすのが精一杯でしたが、新たに後輩も増え、頼りないながらも教えるという役割を担うようになってきました。そこで、これからはただ仕事をこなすのではなく、それにプラスして自ら仕事を探し、積極的に動けるマネージャーになれるよう努力したいと思います。また、マネージャーは漕手を支えるという立場ですが、練習を見ていると、やはり“艇速を上げる”というスローガンにマネージャーが直接関係できる部分は少ないように感じます。しかし、その少しの部分に、一生懸命頑張っている漕手に応えられるぐらい、私も一生懸命取り組みたいと思います。



川島 希紗

同志社大学 政策学部 政策学科

愛知淑徳高校出身

2回生になり、1回生の頃は携わることがなかった仕事をこなしていく中で、ボート部のことをようやく理解し始めたように思います。私が微力ながらも1人のマネージャーとして日々行っていることが、この部のどこかに小さくとも還元されているのだと思うと、マネージャーとして私ができること全てに全力で取り組もうと気が引き締まります。勝利のために日々弛まぬ努力を重ね、シーズン中たくさんの試合に挑む漕手を、少しでも支えられるよう、マネージャーとしてもっともっと成長したいです。



川原 彩

同志社大学 社会学部 産業関係学科

同志社香里高校出身

私が入部してから早いもので2年経とうとしています。昨年は初めて、インカレ・新人戦に付き添い、貴重な体験をさせて頂きました。より一層、大好きな漕手が頑張っている姿が見たい！共に一生懸命頑張っていきたい！と強く思いました。これから

も漕手が練習、試合に集中出来る環境を考えられるマネージャーに近づけるよう日々努力して参りたいです。

新2回生



鈴木 直道

同志社大学 理工学部 化学システム創成工学科
福岡県立城南高校出身
身長 184cm 体重 76kg

去年はとても不甲斐ない試合をしてしまいました。加古川レガッタでも結果を残せず、悔しいばかりで勝つ喜びを感じることができませんでした。今年はインカレ、全日本新人と全国クラスの大会があります。そこでクルーのみんなと喜びを分かち合えるように、今年も頑張っていきたいと思います。



谷田 浩毅

同志社大学 法学部 法律学科
大阪府立茨木高校出身
身長 183cm 体重 85kg

入部時は体重が 110kg もあり果たしてこれから痩せられるものかと悲観していましたが、何とか標準的な体型になり、ホッとしています。これからはインカレで活躍できる漕手になれるよう、より洗練された肉体を造っていきたいと思います。



中田 幸佑

同志社大学 経済学部 経済学科
清風高校出身
身長 165cm 体重 60kg

僕がこのボート部に入って半年が過ぎました。これまで生きてきた中で最も濃い時間を過ごしてきたと思います。しかしボート部での生活はまだ始まったばかりで、これからがもっと大変になると思います。来年にはインカレや全日本新人戦など今年よりも大きな大会がたくさんあるので、自分自身もっと精進していかなければならぬと思います。



南出 貴裕

同志社大学 経済学部 経済学科
滋賀県立膳所高校出身
身長 180cm 体重 71kg

この 1 年、本当にあっという間でした。期待を胸に入部した春、初めての大会であるナックルレガッタ、上がっていく部費、インカレ観戦、飲み会、2000mT・T、加古川レガッタ・・・。合宿所に住み続ける生活は時に楽しく、時に厳しいものでしたが、この 1 年続けてこられたのは、先輩、同回の仲間、マネージャーさん、そして両親の支えがあったからこそだと思います。しかしその支えがありながら、ナックルレガッタや 1 回生で最大の大会である加古川レガッタで結果を残すことができず、自分の努力不足を痛感した 1 年でもありました。来年の目標としては、冬練でしっかり鍛え込み、冬練後に先輩の足を引っ張ることの無い技術、体力を身に付けたいと思います。



潟山 愛

同志社大学 文学部 英文科
神奈川県立希望ヶ丘高校出身

私は今まで自分が競技をし、自分のために部活動をやってきたので、マネージャーという、誰かのために仕事をするということが自分にできるのか最初は不安でした。ですが、マネージャーの先輩方に色々と親切に教えて頂き、やっと仕事にも慣れてきました。そして何より、上を目指して練習を頑張っている漕手を見て、漕手のために自分も何か役に立ちたいと思うようになりました。

これからたくさんのこと学んで、いろいろな面で漕手をサポートできるようなマネージャーになりたいです。



高橋 美帆

同志社大学 文学部 英文学科
滋賀県立膳所高校出身

私は滋賀県で生まれ育ち、祖父母が南郷に住んでいるということで、瀬田川でのボート部の練習風景は幼い頃から見ており、ボートは身近な存在がありました。ですか

ら、私がボート部の先輩方に勧誘して頂き、こうして今、同志社大学ボート部の一員としていられる事は、何かご縁があったのかなと思っています。

まだまだ未熟で、ご迷惑をおかけしてばかりですが、このご縁を大切に、日々精進して、大好きな漕手たちを支えられる立派なマネージャーになれるよう頑張りたいです。

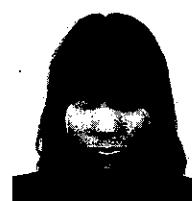


長畠 真実

同志社大学 文学部 英文学科
新島学園高等学校出身

ボート部に入部して1年が経とうとしています。ボート部のマネージャーになったと言うと、周りの人からはいつも意外だと驚かれます。正直最初はマネージャー業には全く興味がなかったのですが、この部の温かい雰囲気に惹かれ、試乗会にはすべて参加し、気付いた時には入部を決めていました。初めはわからないことばかりで、新しい環境に慣れることにも苦労し、正直疲れだけしか感じられない時もありました。しかし、先輩方が優しく声を掛けて下さることや、漕手が頑張っている姿を見ることによって、この部での活動にやりがいを感じられるようになっていきました。

これから3年間、漕手が練習を頑張るのと同じように、私も一生懸命マネージャー業をこなし、頑張る彼らを応援・サポートして、少しでもこの部に貢献できるように頑張りたいと思います。



服部 まりか

同志社大学 経済学部 経済学科
三重県立津高等学校出身

縁あって同志社大学ボート部でお世話になってから1年が経とうとしています。小学校ではソフトボール、中学・高校ではバレー・ボールと運動を続けてきましたが、怪我をし、自分自身が激しい運動をする自信がないものの、運動には関わりたいという思いから、マネージャーを志願しました。漕手のみなさんのお役に立つにはまだまだ未熟ですが、精一杯努力しマネージャー業に励んでいきたいと思います。

年間スケジュール

2009年

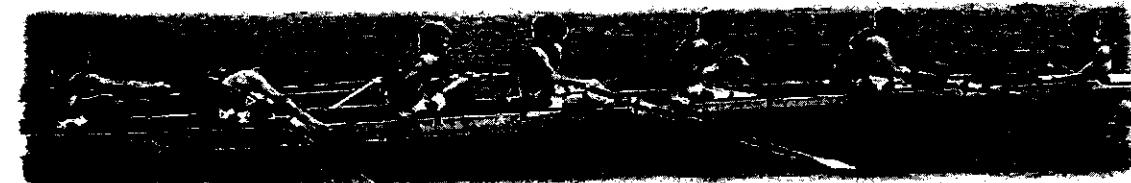
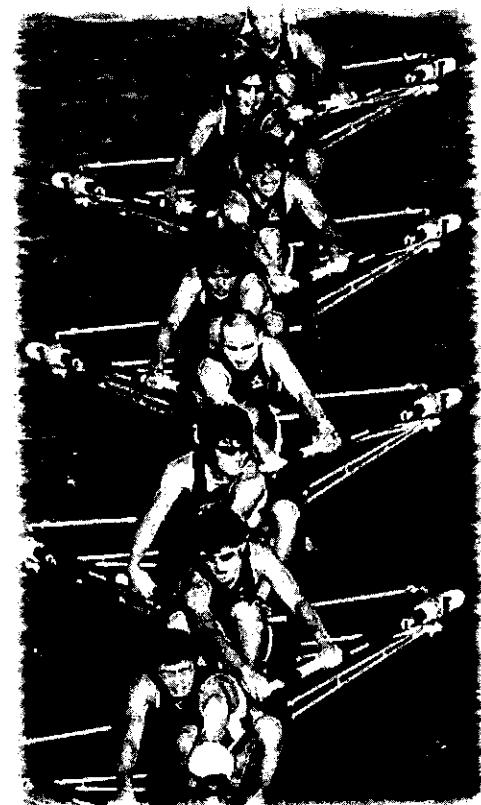
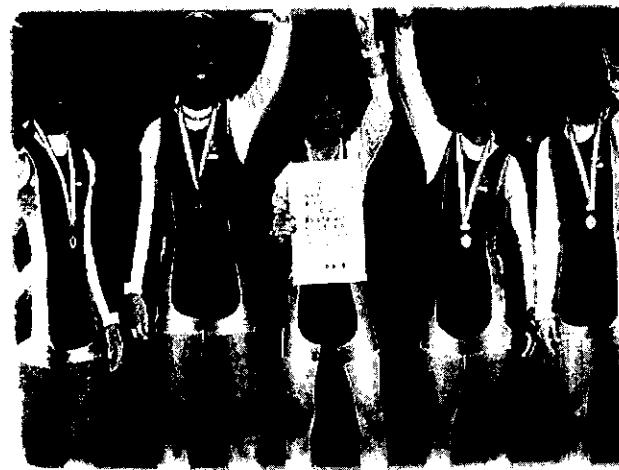
4/4.11.18	試乗会
5/2~5	第62回 朝日レガッタ
7/4~5	平成21年度 関西選手権大会
7/12	平成21年度 関西学生新人レガッタ
8/8	献花式
8/20~23	第36回 全日本大学選手権大会
8/22	関東艇友会
9/10~13	第87回 全日本選手権大会
9/20	第56回 琵琶湖レガッタ
10/16~18	第50回 全日本新人選手権大会
10/12	第44回 京都レガッタ
10/30~11/1	第20回 関西学生秋季選手権大会(加古川レガッタ)
11/14	総会
12/27	納会
<hr/>	
<hr/>	
2010年	
1/2	初漕ぎ
2/20	中部艇友会

2010年 予定

5/1~4	朝日レガッタ
6/5~6	関西学生新人レガッタ
7/3~4	平成21年度 関西選手権大会
8/8	献花式
8/19~22	第37回 全日本大学選手権大会
9/9~12	第88回 全日本選手権大会
未定	第57回 琵琶湖レガッタ
10/15~17	第51回 全日本新人選手権大会
未定	第45回 京都レガッタ
未定	第21回 関西学生秋季選手権大会(加古川レガッタ)



戦績 ◇ 2009 ◇



第62回 朝日レガッタ

(2009年 5月2日～5日 滋賀県立琵琶湖漕艇場)

・男子エイト 総合5位

C: 福重太郎(工3)

S: 千原第資(商4)

7: 植田義之(商2)

6: 園田真大(商3)

5: 大沼茂彬(文4)

4: 三谷大輔(工3)

3: 畑田聖(文情2)

2: 打它晃(工3)

B: 菊池修一朗(社3)

<予選>

クルー	着順	1000m
同志社大学	3	3' 07" 31
岐阜経済大学	4	3' 09" 35
瀬田漕艇クラブB	6	3' 39" 60
京都大学	2	3' 07" 23
大阪大学	5	3' 13" 17
東レ滋賀	1	2' 58" 57

<敗者復活>

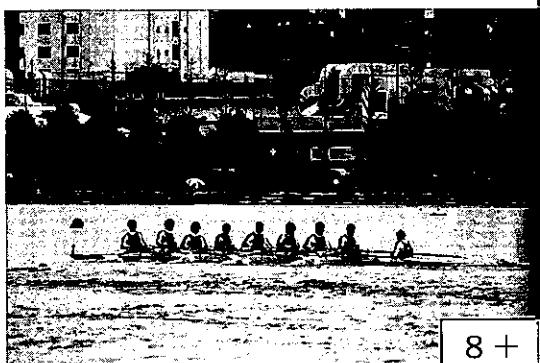
クルー	着順	1000m
オール神崎川	6	3' 32" 34
中国電力 MKH	4	3' 07" 86
大阪大学	3	3' 00" 42
同志社大学	1	2' 53" 82
京都大学	2	2' 58" 10
瀬田漕艇クラブA	5	3' 09" 29

<準決勝>

クルー	着順	1000m
大阪大学	5	3' 05" 90
同志社大学	3	3' 01" 05
明治安田生命	2	2' 55" 78
トヨタ紡織	1	2' 52" 99
神戸大学	6	3' 06" 63
京都大学 A	4	3' 05" 62

<決勝>

クルー	着順	1000m
明治安田生命	4	3' 01" 06
中央大学	6	3' 08" 76
立命館大学	3	2' 59" 09
東レ滋賀	2	2' 56" 67
同志社大学	5	3' 05" 06
トヨタ紡織	1	2' 54" 42



8 +

・男子舵手付きフォア

C: 濱島昌輝(文情2)

S: 木下啓史(経3)

3: 佐藤勇樹(社4)

2: 加藤駿(経2)

B: 西本孝志(工3)

・男子ダブルスカル

S: 中村康治郎(商2)

B: 木下伸也(工3)

<予選>

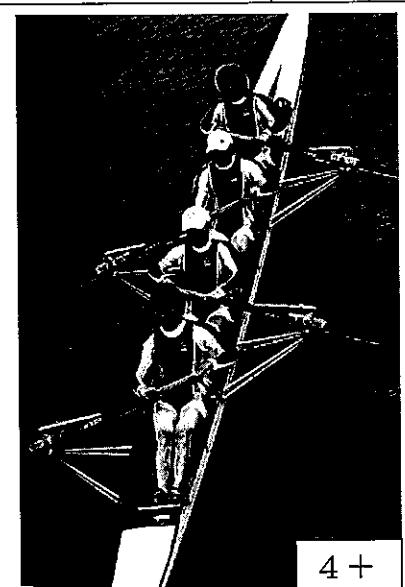
クルー	着順	1000m
同志社大学	5	4' 14" 46
近畿大学	4	4' 12" 76
東レ滋賀 B	1	3' 38" 56
鳥取大学「EAGLE」	2	4' 02" 19
岡山大学 A	3	4' 04" 69

<敗者復活>

クルー	着順	1000m
徳島大学	4	4' 31" 15
南山大学 A	3	4' 12" 71
島根大学 B	1	3' 50" 94
同志社大学	2	4' 07" 82

☆初めての朝日、一言「惨敗」だった。荒れる波の前に何も出来ず、先輩に多大な迷惑をかけてしまった。2年目の今年は「飛躍」のシーズンである。全ては自分のために、腐らず、とことん練習に励んでいこうと思う。

中村康治郎(商2)



4 +



2 ×

・男子シングルスカル

田中克弥(商 3)

<予選>

クルー	着順	1000m
田中(同志社大学)	3	3' 53" 77
伊藤(山口大学「周防」)	5	4' 02" 99
林(ひた市)	2	3' 43" 99
矢地(瀬田漕艇クラブ Y)	1	3' 30" 50
横田(追手門学院大学 A)	4	3' 56" 01

<敗者復活>

クルー	着順	1000m
伊奈(南山大学 A)	4	4' 28" 78
田中(同志社大学)	2	4' 14" 95
村居(京都大学 M)	1	4' 14" 28
中村(大阪府立大学 Y)	3	4' 17" 42

<準決勝>

クルー	着順	1000m
横田(追手門学院大学 A)	5	3' 50" 68
岡崎(龍谷大学 A)	3	3' 47" 34
井出(今治造船)	1	3' 34" 49
吉嶺(京都大学)	2	3' 34" 91
岸田(龍谷大学 C)	4	3' 47" 94
田中(同志社大学)	6	3' 54" 30



1 ×

☆このレースが僕にとって、最後のレースでした。だからなんとしてでも準決勝には残りたかったし、自分の力を出し切りたいという思いがありました。今回、結果的には負けてしまったけれど、自分の中では今まで一番いいレースができたと思います。負けてばかりの僕を指導し、レースに出させてくださった日片監督、高橋コーチ、そして支えてくれたマネージャーには本当に感謝しています。

今後は関西の学連の委員長として頑張りたいと思います。責任ある仕事ですが、やり遂げて同志社の名を全国に轟かせます！

田中克弥(商 3)



蹴り出し風景



今年度の朝日レガッタには数多くのOBの皆さまが駆けつけてくださいました！ご声援ありがとうございました！

ご声援ありがとうございました！

平成 21 年度関西選手権競漕大会

(2009年 7月 4日～5日 大阪府高石市浜寺ポートコース)

・男子エイト 準優勝

C : 福重太郎(工 3)

S : 千原第資(商 3)

7 : 植田義之(商 1)

6 : 園田真大(商 3)

5 : 大沼茂彬(文 4)

4 : 打它晃(工 3)

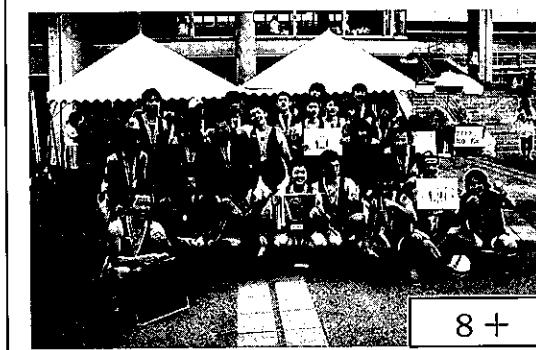
3 : 畑田聖(文情 2)

2 : 三谷大輔(工 4)

B : 菊池修一朗(社 3)



8 +



8 +

<予選>

クルー	着順	2000m
大阪大学	2	6' 24" 23
京都大学	3	6' 31" 47
同志社大学	1	6' 21" 55
関西学院大学	4	6' 41" 61

<決勝>

クルー	着順	2000m
大阪市立大学	5	6' 40" 95
同志社大学	2	6' 15" 07
立命館大学	1	6' 11" 86
神戸大学	3	6' 21" 93
大阪大学	4	6' 27" 79

<予選>

クルー	着順	2000m
広島大学「飛龍」	3	7' 27" 91
同志社大学	1	7' 23" 47
大阪工業大学	5	8' 00" 46
米子漕艇クラブ	2	7' 24" 69
神戸大学	4	7' 40" 71

総合 11 位

・男子舵手付きフォア

C : 濱島昌輝(文情 2)

S : 木下啓史(経 3)

3 : 佐藤勇樹(社 4)

2 : 加藤駿(経 2)

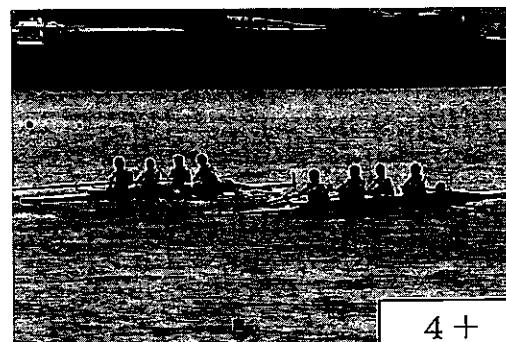
B : 中村康治郎(商 2)

<準決勝>

クルー	着順	2000m
大阪大学	2	6' 51" 29
近畿大学「絆」	4	6' 52" 21
岡山大学	1	6' 48" 67
浜寺 RC	3	6' 51" 84
同志社大学	5	6' 55" 38
広島大学「飛龍」	6	7' 00" 93

<順位決定>

クルー	着順	2000m
米子漕艇クラブ	4	7' 21" 67
同志社大学	5	7' 23" 49
大阪府立大学	1	7' 16" 01
近畿大学「絆」	3	7' 19" 00
広島大学「飛龍」	2	7' 18" 70



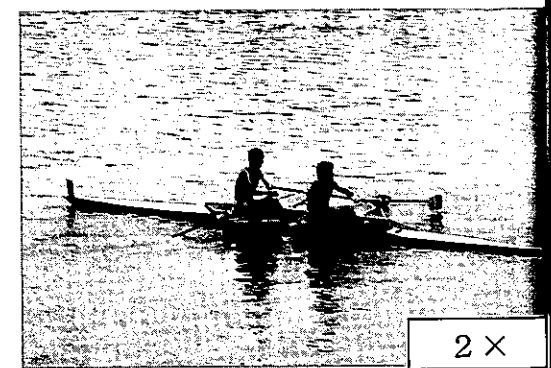
・男子ダブルスカル
S : 西本孝志(工3)
B : 木下伸也(工3)

<予選>

クルー	着順	2000m
追手門学院大学	6	8' 34" 85
金沢大学	4	8' 12" 97
瀬田漕艇クラブ B	1	7' 30" 26
鳥取県選抜 B	3	7' 50" 25
大阪工業大学 A	5	8' 26" 74
同志社大学	2	7' 49" 48

<準決勝>

クルー	着順	2000m
びわこ成蹊スポーツ	3	7' 15" 46
同志社大学	5	7' 23" 06
今治造船	1	7' 10" 82
瀬田漕艇クラブ A	2	7' 13" 04
神戸大学 A	4	7' 17" 71
甲南大学	6	7' 29" 30



平成 21 年度 関西学生新人レガッタ

(2009年 7月 12日 大阪府高石市浜寺ボートコース)

・男子舵手付きフォア A

C : 森福将之(商3)

S : 鈴木直道(理工1)

3 : 貝原弘樹(政策1)

2 : 谷田浩毅(法1)

B : 南出貴裕(経1)

・男子舵手付きフォア B

C : 濱島昌輝(文情2)

S : 渋谷和士(理工1)

3 : 佐藤俊介(理工1)

2 : 木寺雄也(社1)

B : 谷口優樹(社1)

<予選>

クルー	着順	500m
大阪府立大学「アジアの力」	1	2' 06" 98
大阪大学 B	2	2' 09" 48
同志社大学 A	3	2' 11" 45
京都大学「飛沫」	4	2' 15" 40

<準決勝>

クルー	着順	500m
京都大学	1	2' 15" 62
大阪市立大学 C	2	2' 24" 22
同志社大学 A	3	2' 28" 53
大阪工業大学	4	2' 30" 67



・男子舵手付きフォア C

C : 今関将太(社3)

S : 安東健太(社1)

3 : 谷川侑平(理工1)

2 : 大越郁弥(工2)

B : 中田幸佑(経1)

<予選>

クルー	着順	500m
同志社大学 C	1	2' 13" 57
甲南大学 B	2	2' 18" 02
大阪歯科大学 A	3	2' 23" 35

<準決勝>

クルー	着順	500m
大阪府立大学	1	2' 08" 58
同志社大学 C	2	2' 12" 09
大阪市立大学 C	3	2' 14" 73
関西学院大学 B	4	2' 24" 90



今年度の関西学生新人レガッタは新型インフルエンザの関係で1カ月伸びた形となりました。そのため、6月は予定していたレースの変わりに新たな試みとして福井県のハーフマラソンに参加しました。

坂井市古城マラソン(20km)

(2009年6月21日 福井県坂井市)



南出(1回生)



全員で

第36回全日本大学選手権大会

(2009年8月20~23日 埼玉県戸田市戸田ポートコース)

- ・男子エイト
C: 福重太郎(工3)
S: 千原第資(商4)
7: 植田義之(商2)
6: 園田真大(商3)
5: 大沼茂彬(文4)
4: 三谷大輔(工4)
3: 畑田聖(文情2)
2: 打它晃(工3)
B: 菊池修一朗(社3)
- ・男子舵手付きフォア
C: 濱島昌輝(文情2)
S: 木下啓史(経3)
3: 佐藤勇樹(社4)
2: 加藤駿(経2)
B: 中村康治郎(商2)

<予選>

クルー	着順	2000m
立命館大学	1	7' 34" 04
日本体育大学	4	7' 44" 00
東京経済大学	3	7' 42" 68
新潟大学	5	7' 55" 96
同志社大学	2	7' 35" 40

<敗者復活>

クルー	着順	2000m
大阪大学	4	6' 32" 39
同志社大学	3	6' 23" 66
大阪市立大学	5	6' 56" 16
東北大学	2	6' 19" 59
京都大学	1	6' 12" 73

<敗者復活>

クルー	着順	2000m
名古屋大学	3	6' 38" 43
東北大学	1	6' 12" 78
同志社大学	2	6' 15" 30
鹿児島大学	4	6' 44" 24

☆ゴールした瞬間全てが終わったという気がしました。最後のインカレで全力を尽くしましたが力及ばず負けてしまいました。悔いは残りましたが最期を締めくくる良いレースができたと思います。応援ありがとうございました。

佐藤勇樹(社4)

・男子ダブルスカル

S : 西本孝志(工 3)

B : 木下伸也(工 3)

<予選>

クルー	着順	2000m
同志社大学	3	7' 39" 01
東京外国语大学	2	7' 28" 26
山梨大学医学部	4	7' 53" 15
中央大学	1	7' 22" 24

<敗者復活>

クルー	着順	2000m
首都大学東京	4	7' 55" 23
神戸大学	2	7' 23" 28
同志社大学	1	7' 13" 19
滋賀医科大学	3	7' 53" 38

<準決勝>

クルー	着順	2000m
茨城大学	2	7' 02" 19
東海大学	1	7' 01" 61
京都大学	4	7' 21" 57
同志社大学	3	7' 15" 87



☆去年のインカレは何もできずに終わってしまいました。あれから一年が経ち伸也とのダブルが決まって瀬田で練習してきました。その結果、初めて戸田で勝つことが出来ました。しかし、それでもまだ全国レベルには遠く及びませんでした。この最後の1年はこの差を少しでも埋めて、来年こそは決勝に残れるように頑張ります。

西本孝志(工 3)

☆今年のインカレは非常に良い経験ができました。準決勝のレースに上れた経験とともに、上位クルーの速さも見せ付けられまだまだ未熟だなと思いました。来年も頑張ります。

木下伸也(工 3)



第87回 全日本選手権大会

(2009年 9月10日～9月13日 埼玉県戸田市戸田ボートコース)

・男子舵手付きフォア 総合8位

C : 福重太郎(工 3)

S : 園田真大(商 3)

3 : 植田義之(商 2)

2 : 木下啓史(経 3)

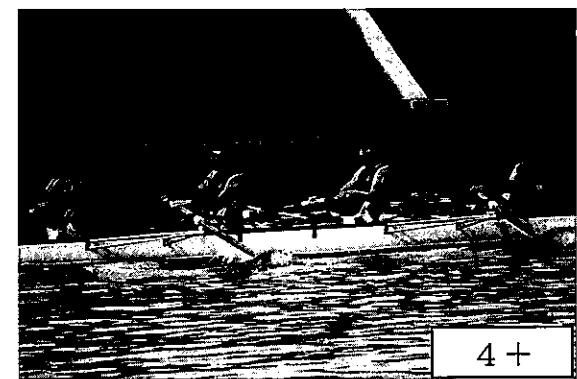
B : 畠田聖(文情 2)

<順位決定>

クルー	着順	2000m
同志社大学	4	6' 52" 65
中央大学	3	6' 49" 92
トヨタ自動車	2	6' 48" 25
早稲田大学	1	6' 45" 71

<予選>

クルー	着順	2000m
戸田中央総合病院 RC	5	6' 50" 19
日本大学	1	6' 37" 71
一橋大学	2	6' 40" 54
同志社大学	4	6' 49" 48
トヨタ自動車	3	6' 43" 37
埼玉県警察機動隊	6	7' 09" 25



<敗者復活>

クルー	着順	2000m
東京工業大学	5	7' 26" 03
東海大学	2	6' 59" 28
立命館大学	3	6' 59" 91
同志社大学	1	6' 57" 66
京都大学	4	7' 13" 53

<準決勝>

クルー	着順	2000m
仙台大学	2	6' 45" 35
日本大学	1	6' 42" 51
早稲田大学	4	6' 55" 47
同志社大学	3	6' 53" 22

・男子舵手なしペア

S : 打它晃 (工 3)

B : 菊池修一朗(社 3)

<予選>

クルー	着順	2000m
東京トヨペット	3	7' 17" 94
明治安田生命	1	7' 07" 50
同志社大学	5	7' 41" 31
東京経済大学	4	7' 30" 36
日本大学	2	7' 10" 61

<敗者復活>

クルー	着順	2000m
同志社大学	5	7' 45" 08
岐阜経済大学	4	7' 26" 60
一橋大学	1	7' 09" 59
日本体育大学	2	7' 12" 82
大阪市立大学	3	7' 19" 76

<予選>

S : 西本孝志 (工 3)
B : 木下伸也 (工 3)

<予選>

クルー	着順	2000m
同志社大学	4	7' 18" 40
千葉大学	3	7' 17" 92
埼玉県警察機動隊	5	7' 36" 83
立命館大学	1	6' 45" 30
警視庁	2	7' 10" 21

<敗者復活>

クルー	着順	2000m
千葉大学	4	7' 28" 83
日本大学	1	6' 55" 89
富山国際大学	2	7' 04" 16
同志社大学	3	7' 08" 76

・男子シングルスカル
大沼茂彬(文 4)

<予選>

クルー	着順	2000m
村岡(道新 RC)	2	7' 44" 12
野崎(トヨタ紡織)	1	7' 34" 13
成瀬(瀬田漕艇クラブ)	3	7' 54" 17
大沼(同志社大学)	4	7' 57" 63
手塚(学習院大学)	5	7' 59" 53

<敗者復活>

クルー	着順	2000m
大沼(同志社大学)	2	7' 55" 56
中野(東京工業大学)	1	7' 50" 80
村田(東京経済大学)	4	8' 49" 37
手塚(学習院大学)	3	8' 16" 84



1 × (大沼)

第 55 回 びわ湖レガッタ

(2009年 9月 20日 滋賀県立琵琶湖漕艇場)

・男子エイト 総合 3位

C : 安東健太(社 1)

S : 大沼茂彬(文 4)

7 : 中田幸佑(経 1)

6 : 谷田浩毅(法 1)

5 : 南出貴裕(経 1)

4 : 渋谷和士(理工 1)

3 : 佐藤俊介(理工 1)

2 : 鈴木直道(理工 1)

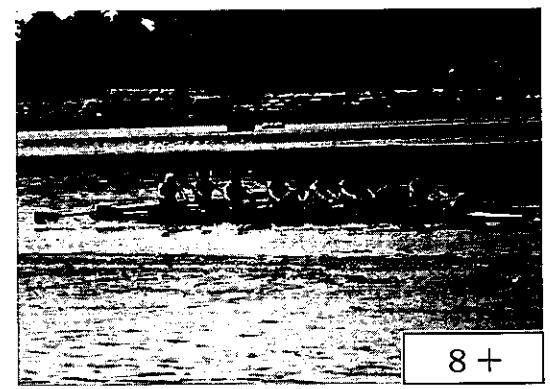
B : 森福将之(商 3)



8 +

<決勝>

クルー	着順	1000m
同志社大学	3	3' 39" 23
東レ滋賀	1	2' 52" 42
東レ滋賀 90'	2	3' 17" 73



8 +



1 × (大沼)



8 +



蹴り出し

第44回京都レガッタ

(2009年 10月12日 滋賀県立琵琶湖漕場)

・男子舵手付きフォア

優勝

C: 安東健太(社1)

S: 植田義之(商2)

3: 畑田聖(文情2)

2: 中村康治郎(商2)

B: 加藤駿(経2)

<予選>

クルー	着順	1000m
DR2のOBたち	2	3' 26" 31
京都大学	3	3' 27" 52
龍谷大学	4	3' 28" 66
同志社大学	5	3' 19" 46
滋賀大学教育「天覇」	6	3' 53" 29
第八芝櫛	5	3' 39" 27

<決勝>

クルー	着順	1000m
滋賀大学教育「天覇」	5	3' 38" 13
龍谷大学	3	3' 22" 24
DR2のOBたち	2	3' 16" 98
同志社大学	1	3' 15" 57
京都大学	4	3' 24" 08
第八芝櫛	6	3' 39" 25

☆フォアで優勝することが出来、自分たちの進化を実感することが出来た良いレースでした。

植田義之(商2)

男子ダブルスカル

S: 西本孝志(工3)

B: 木下伸也(工3)

総合3位

・男子シングルスカル

園田真大(商3)

準優勝

<予選>

クルー	着順	1000m
木下(同志社大学)	3	3' 59" 37
清水(京都大学)	1	3' 46" 51
園田(同志社大学)	2	3' 51" 66
瀬村(神鋼加古川)	4	4' 30" 55
西川(和田岬HC)	5	4' 41" 54

<敗者復活>

クルー	着順	1000m
大坪(京都大学)	4	4' 37" 37
宇都宮(京都大学)	3	3' 59" 68
園田(同志社大学)	1	3' 47" 57
西川(和田岬HC)	2	3' 59" 63

<決勝>

クルー	着順	1000m
京都大学 A	6	3' 34" 97
龍谷大学 B	5	3' 33" 04
同志社大学	3	3' 24" 68
ダイキ・トヨタ紡織	1	3' 11" 50
京都大学	4	3' 27" 32
龍谷大学 A	2	3' 22" 80



クルー	着順	1000m
高橋(京都大学)	6	3' 47" 76
園田(同志社大学)	2	3' 35" 88
武田(ダイキ)	1	3' 26" 48
清水(京都大学)	4	3' 37" 00
野崎(トヨタ紡織)	3	3' 36" 22
井原(瀬田RC)	5	3' 46" 28



1 × (園田)

・男子シングルスカル

菊池修一朗(社3)

<予選>

クルー	着順	1000m
秋田(びわこ成蹊大学)	4	4' 19" 38
道林(和田岬HC)	6	4' 33" 69
武田(ダイキ)	1	3' 47" 04
森(京都大学)	5	4' 26" 49
菊池(同志社大学)	2	4' 03" 41
宇都宮(京都大学)	3	4' 08" 11

<敗者復活>

クルー	着順	1000m
西川(和田岬HC)	棄権	
菊池(同志社大学)	2	3' 50" 35
井原(瀬田RC)	1	3' 48" 89
森(京都大学)	3	4' 14" 71

☆久しぶりにシングルスカルでレースに出場した。シングルスカルというのは、スイープを含め、他のすべての種目の根幹となる要素を持つ種目だと思う。今回の結果を受けて、上達のチャンスだと思い、精進したいと思う。

菊池修一朗(社3)

・男子シングルスカル
木下啓史（経 3）

<予選>

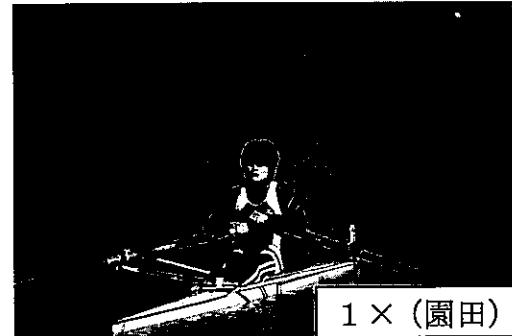
クルー	着順	1000m
木下(同志社大学)	3	3' 59" 37
清水(京都大学)	1	3' 46" 51
園田(同志社大学)	2	3' 51" 66
瀬村(神鋼加古川)	4	4' 30" 55
西川(和田岬 HC)	5	4' 41" 54

<敗者復活>

クルー	着順	1000m
木下(同志社大学)	2	3' 56" 44
高橋(京都大学)	1	3' 54" 41
瀬村(神鋼加古川)	3	4' 27" 33

☆三回生で初のシングルスカルでの試合となりました。この試合では同志社勢が三艇出していました。三艇全てが決勝へ上がる事を願っていましたが、結果は二艇が予選敗退でした。次の試合である加古川レガッタでは、決勝を同志社カラーで染めたいと思います。応援宜しくお願いします。

木下啓史（経 3）



第 50 回全日本新人選手権大会

(2009 年 10 月 16 日～18 日 埼玉県戸田市戸田ポートコース)

・男子舵手付きフォア

C : 安東健太(社 1)

S : 植田義之(商 2)

3 : 畑田聖(文情 2)

2 : 中村康治郎(商 2)

B : 加藤駿(経 2)

☆結果は出せませんでしたが、自分自身は上手くなつたと自信を持って言える価値のある 1 カ月だったと思います。この自信と悔しさを次のシーズンに繋げ、同志社を強くしていきます。

加藤 駿(経 2)

<予選>

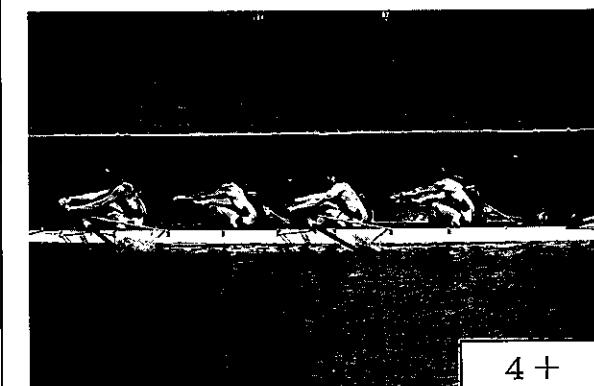
クルー	着順	2000m
松山大学	3	7' 27" 66
東京工業大学	4	7' 28" 04
慶應義塾大学 B	5	7' 58" 50
同志社大学	1	7' 08" 89
山口大学	2	7' 13" 45

<準決勝>

クルー	着順	2000m
東海大学	1	7' 05" 79
京都大学	2	7' 06" 57
同志社大学	3	7' 12" 45
立教大学	4	7' 16" 94

☆確実に個々のレベルも上がり、乗り始めと比べるとはるかに速く進むようになりました。結果は良いと言えませんが、1 カ月という短期間でここまで仕上げられたことは私の誇りです。来年の同志社の艇速を支えられるように、これまで以上に練習に励もうと思います。

畠田 聖(文情 2)



第20回関西学生秋季選手権

2009年 10月30日～11月1日 兵庫県加古川市加古川大堰ボートコース)

・新人舵手付きフォアA 総合7位

C：安東健太(社1)

S：大沼茂彬(文4)

3：鈴木直道(理工1)

2：南出貴裕(経1)

B：渋谷和士(理工1)

<予選>

クルー	着順	2000m
山口大学「羅漢」	3	7' 28" 75
茨城大学	2	7' 11" 38
大阪工業大学	4	8' 26" 66
同志社大学A	1	7' 04" 71

<準決勝>

クルー	着順	2000m
同志社大学B	2	6' 59" 04
京都大学	1	6' 58" 19
同志社大学A	3	7' 05" 78
広島大学B	4	7' 14" 12

<順位決定>

クルー	着順	2000m
茨城大学	2	7' 10" 91
同志社大学A	3	7' 14" 35
広島大学B	1	7' 07" 27
広島大学A	4	7' 34" 97

・新人舵手付きフォアB 総合4位

C：福重太郎(工3)

S：打它晃(工3)

3：佐藤俊介(理工1)

2：谷田浩毅(法1)

B：中田幸佑(経1)

<予選>

クルー	着順	2000m
同志社大学B	2	7' 02" 46
山口大学「早鞆」	4	7' 31" 61
京都大学	1	6' 59" 21
広島大学B	3	7' 19" 96

<敗者復活>

クルー	着順	2000m
山口大学「早鞆」	2	7' 40" 12
同志社大学B	1	7' 23" 68

<準決勝>

クルー	着順	2000m
同志社大学B	2	6' 59" 04
京都大学	1	6' 58" 19
同志社大学A	3	7' 05" 78
広島大学B	4	7' 14" 12

☆優勝という目標が達成できず悔しいです。これからはもう新人ではないので、自立した漕手になれるよう冬期練習を積んで成長したいです。

谷田浩毅(法1)

<決勝>

クルー	着順	2000m
京都大学	3	7' 00" 77
大阪大学	1	6' 52" 30
岡山大学「鷲羽」	2	6' 56" 94
同志社大学B	4	7' 02" 70

☆結果は4位。なんとかして1回生にメダルを取らせたかった。負けはしたが、練習中からクルーの雰囲気は良く、乗っていて楽しかった。だが負けは負けなので、もうあと1歩で勝てたのにというのは無しにしたい。

福重太郎(工3)

<順位決定>

クルー	着順	2000m
同志社大学A	1	7' 01" 23
龍谷大学B	2	7' 06" 34
愛媛大学A	3	7' 06" 77
近畿大学「KN」	4	7' 44" 09

・ダブルスカルB

S：畠田聖(文情2)

B：中村康治郎(商2)

<予選>

クルー	着順	2000m
追手門学院大学	2	7' 19" 69
滋賀医科大学B	4	7' 54" 42
同志社大学B	1	7' 07" 16
愛媛大学A	3	7' 23" 93

<準決勝>

クルー	着順	2000m
愛媛大学A	2	7' 08" 39
神戸大学B	1	6' 55" 87
同志社大学B	3	7' 09" 81
龍谷大学D	4	7' 30" 87

☆少ない準備期間でしたが、思った以上に艇が進み、素直にレースを楽しめました。これから来年に向けて再び練習に励んでいこうと思います。

畠田聖(文情2)

<準決勝>

クルー	着順	2000m
追手門学院大学A	3	7' 11" 41
同志社大学A	2	7' 09" 19
京都大学	1	6' 56" 47
神戸大学D	4	7' 23" 11

・シングルスカル A

園田真大(商 3)

準優勝

<予選>

クルー	着順	2000m
中野(神戸大学 A)	2	8' 45" 20
森(京都大学)	3	9' 17" 45
園田(同志社大学 A)	1	8' 12" 93
阪元(追手門大学 B)	4	9' 55" 28

<準決勝>

クルー	着順	タイム
澤田(大阪府立大学)	2	7' 34" 10
園田(同志社大学 A)	1	7' 28" 70
佐々木(大阪大学)	4	7' 58" 95
加藤(同志社大学 F)	3	7' 56" 00

<決勝>

クルー	着順	2000m
山室(龍谷大学)	3	7' 51" 69
園田(同志社大学 A)	2	7' 42" 43
植田(同志社大学 E)	1	7' 38" 04
木下(同志社大学 C)	4	8' 03" 17

・シングルスカル B

菊池修一朗 (社 3)

<予選>

クルー	着順	2000m
菊池(同志社大学 B)	1	8' 20" 94
木村(甲南大学 E)	2	9' 30" 67

<準決勝>

クルー	着順	2000m
丸山(関西学院大学)	2	7' 45" 84
植田(同志社大学 E)	1	7' 36" 67
菊池(同志社大学 B)	3	7' 48" 01
辻内(山口)	4	7' 58" 80

・シングルスカル C

木下啓史(経 3)
総合 4 位

<予選>

クルー	着順	2000m
辻内(山口大学)	3	8' 20" 77
木下(同志社大学 C)	1	8' 08" 04
丸山(関学大学)	2	8' 15" 35

<準決勝>

クルー	着順	2000m
江川(愛媛大学 A)	2	7' 48" 78
木下(同志社大学 C)	1	7' 43" 15
川島(甲南大学 B)	3	8' 00" 26
堀内(大阪大学)	4	8' 01" 46

<決勝>

クルー	着順	2000m
山室(龍谷大学)	3	7' 51" 69
園田(同志社大学 A)	2	7' 42" 43
植田(同志社大学 E)	1	7' 38" 04
木下(同志社大学 C)	4	8' 03" 17

・シングルスカル E

植田義之(商 2)
優勝

<予選>

クルー	着順	2000m
栗林(甲南大学 B)	4	9' 34" 32
植田(同志社大学 E)	1	8' 13" 73
中窪(大阪大学 B)	3	8' 42" 94

<準決勝>

クルー	着順	2000m
丸山(関西学院大学)	2	7' 45" 84
植田(同志社大学 E)	1	7' 36" 67
菊池(同志社大学 B)	3	7' 48" 01

<決勝>

クルー	着順	2000m
山室(龍谷大学)	3	7' 51" 69
園田(同志社大学 A)	2	7' 42" 43
植田(同志社大学 E)	1	7' 38" 04
木下(同志社大学 C)	4	8' 03" 17

・シングルスカル F

加藤駿(経 2)

<予選>

クルー	着順	2000m
鍬形(鳥取大学)	4	9' 22" 80
佐々木(大阪大学)	1	8' 25" 89
楠村(大阪市立大学 B)	3	8' 49" 94
加藤(同志社大学 F)	2	8' 27" 62

<敗者復活>

クルー	着順	2000m
神谷(島根大学)	3	8' 50" 55
加藤(同志社大学 F)	1	7' 50" 70
楠村(大阪市立大学 B)	2	8' 12" 89

<準決勝>

クルー	着順	タイム
澤田(大阪府立大学)	2	7' 34" 10
園田(同志社大学 A)	1	7' 28" 70
佐々木(大阪大学)	4	7' 58" 95
加藤(同志社大学 F)	3	7' 56" 00



~エルゴ2000T.T. ベスト表~

(2010年02月18日現在)

このページでは11月16日の総会で発表いたしました、現役からの2008年シーズンの反省、2009年シーズンに向けての目標を載せたいと思います。先輩方に現役の現状を知る機会となっていましたら幸いです。

主務 今関将太

順位	名前	学年	サイド	TIME
1	畠田聖	2	S	06:28.5
2	植田義之	2	B	06:33.0
3	木下伸也	3	B	06:42.2
4	園田真大	3	S	06:42.3
5	菊池修一朗	3	B	06:43.0
6	木下啓史	3	S	06:46.7
7	西本孝志	3	B	06:48.4
8	中村康治郎	2	B	06:49.1
9	加藤駿	2	S	06:49.5
10	谷田浩毅	1	S	06:50.5
11	南出貴裕	1	B	06:57.5
12	鈴木直道	1	S	07:01.2
13	中田幸佑	1	B	07:15.6

全体平均タイム⇒ 06:48.2

トップ8人平均タイム⇒ 06:41.6

2009年度 新人勧誘活動報告

今回はOB・OGの皆様に、現役部員がどういった新人勧誘活動を行っているのかを知つていただこうと考え、企画させていただきました。今後の参考にさせていただきますので、ご意見・ご感想等ございましたらよろしくお願ひいたします。

主務 今関将太

1. 準備期間(12月末～3月)

○勧誘ミーティング

・勧誘活動は就職活動のある新4回生を除いた新2・3回生で行われ、本年度は12/21～3/29まで毎週日曜日、計10回のミーティングを行いました。この中で、試乗会の日程や勧誘活動の準備などについて話し合いました。

○仮試乗会

・新4回生を新入生役として、試乗会の予行練習を行います。

○各グループに分かれての準備活動

PV班 ・・・ 勧誘活動用のプロモーションビデオの作成を行います。本年度はエイト・ダブルスカル・昨年の戦績・1回生の1年の流れ...といったテーマを変えた計9本のPVを作成。ブースや試乗会で流すとともに、YouTubeの方へもアップロードいたしました。(ぜひ「同志社大学ボート部 2009」で検索してご覧ください) また、初の試みとしてDVDを作成し、試乗会に来てくれた新入生に配布しました。

ピラ・ポスター ・・・ 勧誘で配るピラ・ポスターの作成から印刷業者への注文までを行います。本年度はピラ4500枚を準備しました。(両面印刷、しかもカラーでこれだけの枚数を作成している団体は学内には存在しません!)

パンフレット 主に試乗会に参加してくれた新入生に配るパンフレットの作成から業者への注文までを行います。部員紹介・ボート競技の紹介・Q&Aなど、計10ページのものを100部準備しました。

Tシャツ 試乗会に2回来てくれた新入生に配るTシャツを作成します。これには2回以上来てくれた新入生にボート部に対する仲間意識を持つてもらおうという意図があり、部員も試乗会中は全員がこのTシャツを着用します。

○本年度の新しい試み

- ・勧誘マニュアルの作成（勧誘期間中の声のかけ方、電話の仕方、タブーワード等）
- ・勧誘用携帯サイトの作成（ビラのQRコードから見れるようにした）
- ・ビラ、ポスターの写真を決める際の参考に、SNSサイトを利用して部外の学生にアンケートを実施。（約100名の回答があった）
- ・コックス勧誘についての話し合い（実際にコックスをさせてみる、現役コックスが魅力を伝える）

⇒ 【結果】コックス志望が1名入部

- ・雨の日の試乗会を想定しての話し合い

⇒ 【結果】実際に初日の試乗会が雨となり、スムーズな対応ができた

- ・入部締切の変更（新歓コンパから朝日レガッタ最終日に延長）、仮合宿の開催

⇒ 新歓コンパ以降を勧誘活動の後半戦と位置づける

⇒ 【結果】新歓コンパ後に4名が追加で入部

2. 勧誘期間(4月)

○学内での勧誘活動

- ・大学に指定されたオリエンテーション期間（4月1日～7日）の間、学内で新入生に声をかけて名簿に記入してもらいます。その後、名簿の新入生に対して電話かけを行い試乗会と食事会に誘います。

・本年度は新2・3回生24人（12ペア）で行い、2007年度のデータを基に全体の目標と各ペアのノルマを設定しました。

2007年度結果：名簿611人 試乗会参加者90人 入部者20人（着手15人）



2009年度目標：名簿620人 試乗会参加者90人 入部者24人（着手20人）

※2007年度は試乗会を4回開催したが、2009年度は日程の関係上3回の開催

《オリエンテーション期間の勧誘活動詳細》

		勧誘活動時間	名簿人数(女)
4月1日(水)	<u>入学式</u>	9:00～17:00	155(25)人
2日(木)		9:00～16:30	223(61)人
3日(金)		9:30～16:30	169(39)人
4日(土)	<u>試乗会</u>	9:30～12:45	19(1)人
6日(月)		9:30～16:30	52(8)人
7日(火)		9:30～15:30	46(4)人
			合計 664(153)人

○試乗会

- ・2009年度は合宿所での試乗会を3回行いました。

試乗会の流れ

1. 新入生を3班に分け、①乗艇 ②エルゴ ③PV鑑賞 の3つをローテーションさせます。
「乗艇」→ 新入生にエイトに乗ってもらいます。2回目以降の新入生にはナックルフォアやダブルスカルにも乗艇させました。その他にもコックス体験や、モーターに乗せてエイトの伴走をしました。また、最後の試乗会ではユニフォームに着替えた対校エイトのメンバーによるデモンストレーションを行いました。
「エルゴ」→ エルゴ体験をしてもらいます。本年度は短い距離でのエルゴ大会や、グループに分けてのエルゴリレーを行いました。
「PV鑑賞」→ 勧誘用に作成したプロモーションビデオや写真を見てもらいながら、ボートやクラブの説明をします。本年度はKBS京都で放送された「Go on」という番組に同志社大学ボート部が紹介されたときの映像が新入生の注目を集めしていました。

- 乗艇などが終了後、大部屋にて宴会を行います。鍋を食べながら、新入生の自己紹介や部員による一発芸などで盛り上げます。ここで新入生に感想を聞きながら個別に入部を勧めています。
- One Purpose と集合写真で終了します。最後にパンフレットや全ての PV が入った DVD を配布しました。また、これらの様子は当日のうちに画像と共にブログにアップします。

《試乗会の詳細》

参加人数(女/リピーター)

4日	32 (9/—)	※雨が降っていたが、カッパを用意して乗艇させた
11日	21 (2/6)	
18日	28 (9/19)	
合計81(20)人		

○食事会

- ・試乗会とは別に、親睦会としてキャンパス内の食堂で新入生との食事会をします。
- ・京田辺キャンパス、今出川キャンパスにて午後モーションのない木曜日の 18 時から行いました。(4月 4 日、11 日の 2 回)
- ・試乗会や食事会を通して、入部期待度が高いと思われる新入生には部員それぞれが個別に食事に誘うことで対応しました。

○新入生歓迎コンパ ※入部 1 次〆切

- ・4月 19 日(土) 三条にて行われました。

⇒ 男子8人 女子4人 計12人 が入部

- ・新勧コンパ後も試乗会に参加してくれた新入生を対象に引き続き勧誘を続けました。

○仮合宿

- ・入部決定者と入部に迷っている新入生に合宿をしてもらいます。今年初めての試みでしたが、入部を迷っていた 2 名 を加えた 10 名 の新入生が参加し、試乗会とは違った形でボートを体験してもらいました。

○朝日レガッタ観戦 ※最終日→入部 2 次〆切

- ・朝日レガッタを観戦してもらい、本当のボートレースを知ってもらいます。最終日の懇親

会をもって本入部とし、最終的にはさらに 1 名 が追加。また、6 月にも入部を迷っていた新入生が 1 名 加わり、

⇒ **男子12人 女子4人 計15人 が正式に入部**

3. 2009 年度の勧誘を振り返って

今年度は昨年の反省を活かし、名簿のノルマ設定を抑えて“質重視”の名簿集めをしていました。180cm 以上の新入生が 5 人という結果は、そうした試みの成果だと考えています。また、初めての試みであったコックス勧誘も成功(1 名がコックス志望で入部)し、来年以降につながる新たな勧誘のスタイルを実証できたのではないかと思っています。

しかしながら、入部した 12 人の新入生も現在は 5 名と退部者が多い点は改善することはできませんでした。(昨年度は入部者 11 名→現在 4 名+セレクション 1 名) この件に関しては新入生自身の問題もありますが、入部後の対策に関しても今後は勧誘活動の一環として話し合っていく必要があると考えております。

以上をもちまして 2009 年度の新人勧誘活動報告とさせていただきます。

～ 最後に ～

限られた紙面の中でできるだけ多くの情報を伝えようと試みたのですが、いかがだったでしょうか? 文字ばかりでわかりにくい部分も多かったと思いますが、最後まで読んでいただき感謝しております。

正直に申し上げますと、ここに書いてあることは大まかな流れにすぎません。5 ページでは收まりきらない細かい取り決めや準備がまだまだ存在します。そんな大がかりな勧誘活動ですが、現在は新 3 回生が中心となり準備をしてくれています。彼らなら今年以上の結果を出してくれると思いますので、朝日レガッタ最終日を楽しみにお待ちください! (もちろん 4 回生も全力で勧誘します!)

主務 (新 4 回生) 今関将太

2009年度 現役会計報告

(平成20年11月1日～平成21年10月31日)

《収入の部》

摘要	21年度収入(予算)	21年度収入(決算)	予算比較	22年度収入(予算)
前年度繰越金	¥1,486,145	¥1,486,145	¥0	¥1,771,39
現役負担金	¥9,820,000	¥8,697,888	¥-1,122,112	¥9,200,00
寄付金	¥2,500,000	¥2,500,000	¥0	¥2,500,00
学校からの寄付金	¥1,100,000	¥1,120,000	¥20,000	¥1,120,00
受取利子		¥0	¥0	
特別収入	¥30,000	¥440,373	¥410,373	¥400,00
合計	¥14,936,145	¥14,244,406	¥-691,739	¥14,991,39

現役負担金は漕手が部費として月3万(新入生は5000円から始まり、7月に15000円、10月から3万円になります。)に加え、クラブバイト代(アルバイト+かいつぶり補助)の869,888円の合計です。

特別収入が増えたのは、借艇や艇輸送の混載があったためです。

《支出の部》

摘要	21年度支出(予算)	21年度支出(決算)	予算比較	22年度支出(予算)
合宿費	¥7,200,000	¥6,672,364	¥-527,636	¥6,800,00
情宣費(勧誘費)	¥500,000	¥281,825	¥-218,175	¥500,00
試合費	¥4,200,000	¥5,186,735	¥986,735	¥5,000,00
用具購入費	¥800,000	¥72,972	¥-727,028	¥500,00
分担金支出	¥50,000	¥57,000	¥7,000	¥50,00
記念費	¥200,000	¥247,455	¥47,455	¥200,00
連盟費	¥100,000	¥156,400	¥56,400	¥150,00
什器購入費	¥150,000	¥252,192	¥73,461	¥200,00
特別支出	¥200,000	¥152,470	¥-47,530	¥200,00
交通費(※)		¥16,290		¥15,00
次期繰越金	¥1,536,145	¥1,148,703	¥-387,442	¥1,391,39
合計	¥14,936,145	¥14,244,406	¥-736,760	¥14,991,39

合宿費には、生活にかかるすべてのお金のほかに、練習費、資料費、消耗品費、涉外費、事務費、郵送費、燃料費などが挙げられます。

試合費が増えたのは、一回生のマラソン大会等試合遠征が増えたためです。

※交通費はマネージャーのOB訪問時の交通費等諸経費です。

今年度もご指導、ご協力の程、よろしくお願ひ致します。

会計 森福将之

現役 特集ページ

今年度は2009年シーズンに行われた試合を現役漕手たちに振り返ってもらいました。

○朝日レガッタ

去年よりも順位を1つ上げることができて良いレースだったと思います。
しかし、これは2000mもつ漕ぎ方ではなかったと改めて思いました。 (植田義之)

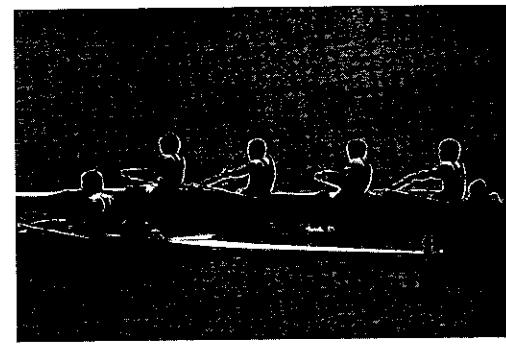
○関西学生新人レガッタ



1回生の最初の試合ということで、楽しみでもあり、不安でもあります。の試合でした。結果は準決勝敗退という結果で、更には京大にぶつちぎられるというとても悔しいものでした。しかし、今思うとこれが自分のボートを続ける原動力になった大切な試合でした。 (鈴木直道)

ボートを始めて2カ月で何も分からないまま試合に出た感じでした。準決勝であっさり負けてしまい、悔しさだけが残る試合でした。加古川では良い結果が出せるよう今まで以上に練習しようと思いました。 (谷田浩毅)

○関西選手権大会



関西選手権はフォアで出場しました。このクルーは始めからあまりまとまりがなく、それぞれが向いているベクトルも違うように思いました。

しかし、関西選手権で負けた悔しさからか、その後の練習ではそれぞれが同じ方向を向きはじめました。関西選手権はこのフォアにとってのターニングポイントになったと思います。 (木下啓史)

良くも悪くも自分たちの課題がわかりました。スタートでどうしたら前に出られるかが勝負どころです。 (福重太郎)

インカレ前に2000mを漕げる貴重な試合でしたが、準決勝敗退に終わり、悔しい思いをしました。試合内容としては、スタートで出られ、そのまま追い付けずに終わってしまいました。ボート競技におけるスタートの重要さを身をもって学ぶ結果となりました。 (加藤駿)

○全日本大学選手権大会



フォアではそこそこ上手くいっても、エイトではそうはいかない…ということばかりでした。エイトで勝負するには、エイトを走らせるノウハウを手に入れることが必要だと思います。もちろんそれは個々の力が前提となります。この2つを課題として来シーズンへ向かっていきたいと思います。(菊池修一朗)

エイトで挑戦し、自分たちの力の無さを実感した試合であった。正直、少しあは通用すると思っていたが、結果は敗者復活で敗退と惨敗であった。僕はもうインカレに出ることはないと、これからサポートする側として、来年のインカレの結果のため、力を注ぎたいです。 (打谷晃)

同回と2人で最終日まで残る、という目標を持ってやってきましたが、準決勝で敗れるという結果になってしまいました。この悔しさをバネに、来年こそは自分の定めた目標を絶対にクリアできるようにこの冬更に強くなりたいと思いました。

(西本孝志)

○全日本選手権大会



ペアで練習した時間は短かったですが、単純に力不足だったと思います。一から鍛え直して冬を越したいと思います。 (菊池修一朗)

企業はもちろん、日大や仙台、早稲田、立命館など、日本でトップレベルの大学と並べる機会があり、勝負の厳しさを肌で感じました。

自分たちの良いところも悪いところも出た、収穫の多い大会でした。 (畠田聖)

先手を打った試合だったが、順位決定戦は体力が最後まで続かないという悔しい内容だった。こんな気持ちにならないよう、練習からもっと追い込んでいこうと思います。

(福重太郎)

○琵琶湖レガッタ



レース中にトラブルが起き、自分の練習不足を思い知らされた大会でした。

(南出貴裕)

エイトで出場する最初の試合に緊張してしまい、自分のダメなところが完全に出てしましました。他のクルーに申し訳ない試合でした。

(中田幸祐)

○京都レガッタ



自分にとってこの試合は、初めてのシングルスカルでの出場でした。

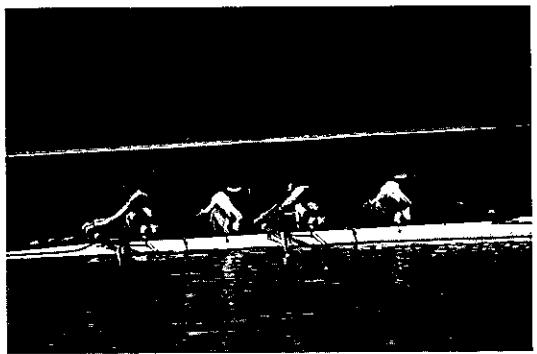
同志社からシングルスカルは3艇出場しましたが、決勝に進んだのは1艇のみで、自分は予選敗退でした。決勝を同志社カラーで染めるつもりで臨んだ試合でしたが、残念ながら叶いませんでした。加古川レガッタに向けて、更に勝とうという気持ちを強くさせられた試合でした。

(木下啓史)

日頃の練習での甘さが出てしまった試合だと思います。

常にレースを意識した練習ができたと思います。 (西本孝志)

○全日本新人選手権大会



乗り始めは、パドルが1分ももたないクルーでしたが、練習を重ねるごとに皆成長していました。準決勝敗退でしたが、私個人としてはとても良かったと思います。

付き添いで来てくれたマネージャーに結果で恩返しできなかったことが残念です。

(畠田義之)

個々のレベルも確実に上がりましたし、乗り始めと比べるとはるかに速く進むようになりました。結果は良いとは言えませんが、1ヶ月という短い期間であれだけの艇速が出せたことは私の誇りです。

(畠田聖)

船友会 特集ページ

今年度も S45 年卒の清水先輩から寄稿文のご協力をいただきました。今回は、万葉集の視点から執筆なされました。ご協力いただいた清水先輩に、この場を借りて厚くお礼申し上げます。



漕ぐを語る 漕

万葉集の「漕ぎ」歌 (1)

昭和 45 年卒 清水 正俊

私が万葉集に本格的に触れたのは、定年後である。

日本人である以上代表的な歌は知っている。しかし百人一首との区別もつかず山部赤人の「田子の浦うち出てみれば…」、持統天皇の「春過ぎて夏来たるらし…」程度しか思いつかない情けないレベルであった。

ある放送局主催の「奈良遷都 1300 年記念・藤原京ラジオ・ウォーク」に家内と参加した。藤原京跡を出発して白鳳時代の史跡と万葉歌碑の 10km を歌人「黛まどか」と考古学者等の数人が解説をしながらラジオ中継して巡るというイベントで、史跡と歌碑の解説をイヤホン越しに聴き、その歌が詠まれた時代とその歌人に思いを馳せ歩いた。そして大いに感激した。これがきっかけである。

その後も何度も奈良中心に実施された JR 主催の万葉集関連のイベントに参加した。また明日香にある万葉文化館にも何度も足を運んだ。一言で面白いと思った。天皇から名もない庶民までの 4500 もの歌、古代宮廷の権謀術数、恋歌あり挽歌あり、単なる歌集ではなく日本の古代史が書かれた壮大な叙事詩だと思った。

また岩波文庫 佐々木信綱著「新訓万葉集(上下)」を購入、書棚に埋もれていた「古語辞典」を引っ張り出し、さらに関連図書を購入し読みだした。意外と同年代ではブームになっていた。そして今更ながら高校時代に「古文」の授業を「ボート」の練習の疲れをとる休憩時間に充て、記憶に残してこなかった自分を呪った?

さて NHK 「日めくり万葉集」の放送で

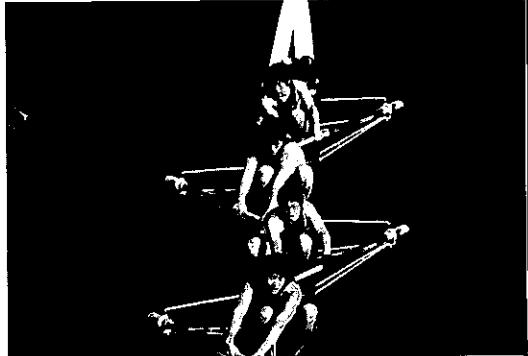
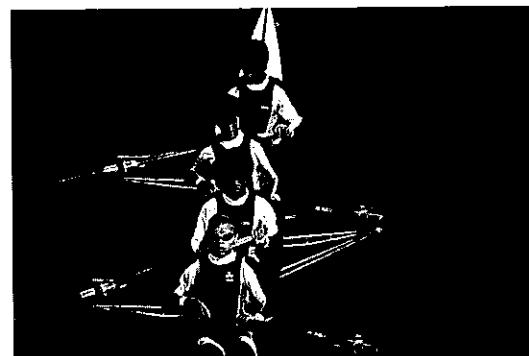
351 首 沙彌滿誓作 (僧侶・元官僚)

「世間を何にたとへむ 朝開き漕ぎ去にし船の跡なきごとし」

瀬田での練習では、そこそこの手応えを感じていましたが、戸田では雰囲気にはまれ、固くなり、足を引っ張ることになってしましました。

「レース」という非日常でいかに緊張せずに、自分の持っている力を 100%引き出せるか、日頃の練習の「質」の大切さを実感させられました。 (加藤駿)

○関西学生秋季選手権大会



1回生の指導を兼ねた、最後のレースでした。決勝まで残れることは満足でした。1生も、B クルーが A クルーに勝つことができ、勝つことの楽しさと、決勝では負ることの悔しさをよくわかつてくれたと思います。

1回生には、この経験をバネに頑張ってほしいです。 (打它晃)

1年の締めくくりとなる試合で、大沼先輩のご指導のもと、一生懸命練習に励んだつもりでした。

しかし、結果は準決勝敗退。自分の力の無さを痛感するレースとなりました。

冬期練習では、このレースで得た反省点をしっかりと克服したいと思います。

最後になりましたが、誰よりも真摯に、そして情熱を持ってご指導をして頂いた大沼先輩には本当に感謝しています。

(鈴木直道)

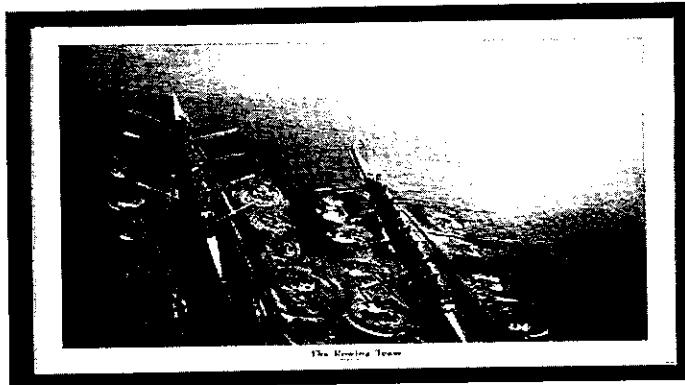
(世の中を何に喰えたらいいのだろうか。それは朝早く港を漕ぎ出で行った船の軌跡が何も残っていないようなものだ)

と、この歌が朗々と流れてきた。

私の脳裏に、あの頃早朝4時40分起床し体操をして薄暗い少し霞んだ中を漕ぎ出していった風景が浮かんできた。

コックスの掛け声と8人の息遣い、キャッチとフィニッシュ時のオールのきしむ音、そしてオールの漕ぐたびに水面に浮び残る8個の白い泡と縦筋の航跡が一緒に消えていった風景と重なった。

この歌を機に万葉集歌の「漕ぐ」という文字に引きつけられた。



学生時代に熱中して漕いだ体験は未だ「オール」のマークに反応し、ネクタイは勿論、ネクタイピン、シャツ・キャップ等々に反応し集めてしまう。

だから当時の「漕ぎ」の仲間との付き合いは勿論、シーズンになれば応援に顔を出す。

5月の連休は丁度シーズンのスタートであるだけになおさらで、滋賀の瀬田コース、その後の堺の浜寺コース、東京に住んでいた頃は戸田コースにも行っていたのだが、定年後大阪に引っ込んでからは、関西に限定された。特に琵琶湖瀬田浦は学生時代毎日のように慣れ親しんだだけに勝手に足が向く。

行けば古代史「壬申の乱」の戦場であった瀬田の唐橋の上から下流を眺め、その下を漕ぎ抜けたあの日を思い出す。シーズン到来を告げる川辺に一斉に咲く桜と川に迫る暗緑色の山々とのコントラスト、そして新緑、若葉の季節、シーズン終了後の山々の紅葉と冬の寒々しい暗緑色の山々、透き通った緑色の瀬田川は、その変わりゆく季節を映して流れていく。

そして改めて万葉集歌では「漕ぐ」という言葉が詠み手のどんな心情を表し、どん

な役割を果たしたのか、またいくつあるのかと考えてみたくなった。
そう思うと少しワクワクしてきた。



「漕ぐ」を漢和辞典で改めて引いてみると

「漕」ソウ・こぐ ①(動詞)数人が力を合わせて船をこぐ
②(動詞)船で物を運ぶ

まさしく「エイト」を漕ぐイメージと一致するではないか



◆使用されている文字について

こぐ(意味を持つ文字で) 表意文字

「榜」ボウ・ホウ

(動詞)船の両側に竿をさして船を進める「榜人=船頭」

(名詞)鞭・立て札→公に掲げて示す「標榜」

「滂」ボウ・ボウ (動・形)水やしぶきが四方に広がる。プラッショ?

(いわゆる当て字) 表音文字

こぐ・こが・こぎ…許藝・許伎・己具・許具

許枳・許我・己藝・許求

(その他遊び心で) …棹・水夫(漕ぐと読ませた)

351首 沙彌滿誓作に戻る

(万葉仮名原文)

「世間乎 なににたとへむ あさびらき こぎいにしあねの あじなきがごと
よのなかを なににたとへむ 舛余將譬 旦開 榜去師船之 跡無如」

この時代の船は帆と水夫が櫂を漕ぎ走らせていました。そして主な旅の手段であった。船の大きさは、こんなに朝早く誰を乗せ、どこに漕ぎ向かったのか。また水夫の漕ぐ櫂のきしむ音も聞こえていたのか。

作者の沙彌は修行中の僧侶であったというが、何を思い、誰を思ってこの歌を詠んだのか。いろいろなことが想像される。

一解説では「船の跡なきごとし」と無常観を表す船のイメージは後世の歌人たちを魅了し、このイメージは繰り返し詠まれるようになったといふ。

あの有名な「諸行無常の響きあり」が浮かんでくる。私は「漕ぎ去にし」にそれを感じる。

さつき漕いだ時の泡は二度と帰って来ないのだ。

現役中、「一本一本大事に漕ごう」と言われたものだ。今更ながら人生の歩みと重なる事に気づく。

また「漕ぐ」は「船出」を意味し、別れと、出発に繋がり希望にも悲しみにも繋がる。そういう思いも込めて詠まれた歌も多いかもしれない。

今後もこのテーマで万葉のロマンを追い求めたい。

瀬田にご無沙汰の皆さん、我々が漕いだ琵琶湖「近江」は万葉集の素材に事欠きません。このロマンに浸りに来ませんか。

万葉「漕ぎ」歌 (2)

昭和45年卒 清水正俊

私は毎日（月～金）NHKの番組で「日めくり万葉集」を見ていた。月・金、毎朝5時00分「壇ふみ」の朗読で始まり、そして選者がその歌の感想を語るという番組であった。朝早いので主に6時55分の再放送を見た。その他日曜日6時30分にも一週間分を放送してくれた。

一年で延べ240首（選者によりダブルが）放送された。そしてご丁寧にテキストまであった。当然毎月購入したが内容は結構レベルが高かった。

さて万葉集には一体いくつの「漕ぎ」歌があるのだろうか。万葉集は20巻4516首あるが、今のところ128首までは数えた？

そして「日めくり万葉集」の中にも「漕ぎ」歌が9首もあった

NHK 日めくり万葉集から「漕ぎ」歌を抜粋

「漕ぐ」で力強さを感じる名歌（1首）

8 「*熟田津に船乗りせむと月待てば潮もかなひぬ今は漕ぎいでな」

額田王

[・田津余 船乗世武登 月待者潮毛可奈比沼 今者許藝乞菜]

(熟田津に船出を待っていると潮も丁度良くなった。さあ今こそ漕ぎだそう)

熟田津→松山

661年齊明天皇の頃、百濟救援の出陣前に詠まれた歌である。

救援はその後の663年 白村江の戦いで唐・新羅軍に惨敗するまで続いた。

その後唐・新羅の侵攻を恐れ、国防のため難波から近江へ遷都となるこの歌では天皇の力強さを示し、さらに軍団の「出陣」という意識高揚、目的共有のため効果的に「漕ぎ」を使ったのではないか。また【船乗りせむ】【漕ぎいでな】の強調は「5・7・5・7・7」のリズムとよく合う。そして最後の「今漕ぎいでな」に繋がり強い思いを表す歌となった。この歌を選んだある選者は《「天・地・人」が最高な状態にあるところで、パッとシャッターを切って詠んだ》と評した。この評にドキッとした。人の「船出」とは今も昔も心を驅り立てるのか。

新たな出発にふさわしい歌であり、リーダーに覚えて欲しい歌である。全日本選手権出発前等に聞くのにふさわしい歌かも知れない。

しかし、よほど自信がないと詠める歌ではない事は確かである。そう思うと逆に開き直って詠んだのか。

私が四国にいた時はこの歌の存在は全く意識しなかった。

「茜さすへ」と同様、共に万葉集ベスト10に必ず入る人気の高い歌である。

その他「漕ぎ」歌（6首）

42 「潮騒に伊良湖の島邊漕ぐ船に 姉乗るらむか荒き島廻を」

柿本人麻呂

[潮左為二 五十等兒乃嶋邊 横船荷 姉乗良六鹿 荒嶋廻平]

(潮騒の中伊良湖の島の辺りを漕ぐ船に、恋しい妻は乗っているだろうか。
あの荒々しい島の辺りを)

*人麻呂の妻への「相聞歌」(恋歌)として有名である。思いを込めた「らむか」が
効いている?

おーい早く帰ってこいよ。

4150 「朝床に聞けば遙けし*射水川 朝漕ぎしつつ唱う船人」

大伴家持

[朝床余 聞者遙之 射水河 朝已藝思都追 唱船人]

(朝の寝床で聞いていると遠くから唄が聞こえてくる。

射水川で朝漕いで歌っている船頭よ)

*富山県高岡を流れる川の名(小矢部川)

4029 「*珠洲の海に朝開きして漕ぎ来れば長浜の湾に月照りにけり」

大伴家持

[珠洲能宇美余 安佐妣良伎之弓 許藝久礼婆 奈我波麻能宇良余
都奇氏理余家里]

(珠洲の海から朝港を出て漕ぎだして来ると、いつしか長浜の浦に
月が照っている)

*能登半島の先端、珠洲市

家持が越中国守の時、多くの歌を詠んでいる。国府があった高岡には家持を讃えた万葉記念館がある。私が金沢に居た時は万葉集に興味がなく行っていない。惜しいことをしたものだ。



58 「いづくにか船泊てすらむ 安礼の崎漕ぎ廻み行きし棚無さぶねレ小舟」
高市黒人の旅の歌

[何所余可 船泊為良武 安礼乃崎榜多味行之 棚無小舟]
(今どこの津に舟泊まりをしているのだろうか。安礼の崎を巡って
行ったあの棚無の小舟は)

*棚無し小舟→丸太船に近い波切り板のない不安定な小船

→小舟は旅に疲れた不安な自分を表わし?

このままじやあうつ病に?なりそう

273 「磯の崎漕ぎため行けば近江の海 八十の湊さそに鶴多たづなはに鳴く」

高市黒人の旅の歌

[磯前 榎手廻行者 近江海 八十之湊余 鶴佐波二鳴]

(磯の崎を漕ぎ回って行くと近江の海には沢山の港で鶴がうるさく
鳴いている)

274 「わが船は比良の湊に漕ぎ泊てむ沖へな離りさ夜更けにけり」

高市黒人の旅の歌

[吾船者 枚乃湖余 榎将泊 奥部莫避 左夜深去来]

(この船は比良の湊に船泊まりにしよう。でも岸から離れるなよ
夜も更けた)

高市黒人は旅の歌が多く距離感がありスケールが大きい。

また幽玄さも感じる。

一方で旅の不安なイメージも伝わってくる。273の「鶴多に」鶴は何を表わしているのか。

次の歌の274「沖へな離り」(岸から離れるな)からは彼の精神状態の不安さを感じる。

また3首全て「漕ぐ」を表す文字に「榜」が使われている。淡々とした旅の歌にするためにこの文字にしたのか。そこに何か意図があるのだろうか。

「漕ぐ」を使った歌は概ね役人クラス以上に多い、当時の旅の移動手段の大半は「歩く」であり身分の高い者しか乗れない馬と「漕ぎ」による移動手段の要素はむしろ低い。

「熟田津に～」を除き、人との別れ、出会い、人生の変化をもたらす死と隣り合わせの「旅」は思いが凝縮しやすい「漕ぐ」に様々な思いを乗せ詠んだのであろうか。

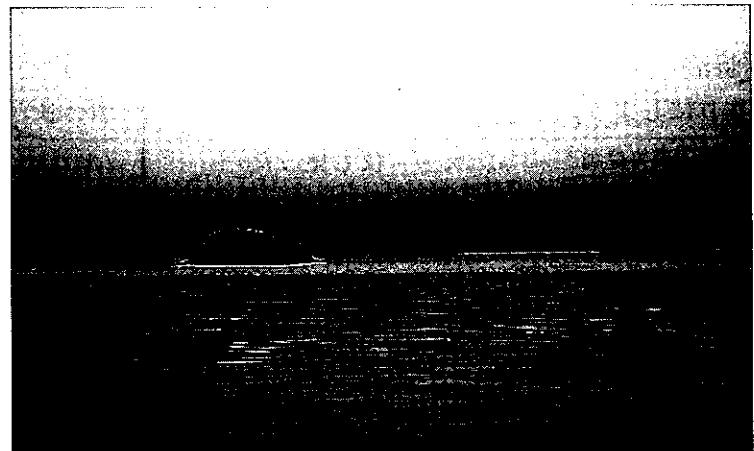
万葉「漕ぎ」歌 (3)

昭和45年卒 清水正俊

偶然ではあるが、私がかつて勤めていた会社が四国の坂出にあり前回の351の作者「沙彌瀧誓」と同じ名の沙彌島が近くにあった。

当時は「さみねの島」と呼ばれた。今は埋立て地となつなり陸続きとなっている。そしてその丁度上を瀬戸大橋が懸っており瀬戸大橋架橋を記念して記念館と公園が造られている。

当時住んでいたのは30階建ての高層住宅の21階で、夕日に霞む瀬戸内海と土曜日の夜にはライトアップされた瀬戸大橋がきれいによく見えた。そしてこの沙彌島も見えていた。



現在その島の海岸に万葉宮廷詩人「柿本人麻呂」の歌碑がある。

〔讃岐の沙岑の島に石の中の死れる人を見て柿本人麻呂が作る歌〕

220 「玉藻よし讃岐の国は国柄か見れど飽かぬ神柄かここだ貴き天地日月とともに満

りゆかむ神の御面と繼ぎ来る中の水門ゆ船浮けて我が漕ぎ来れば時つ風雲居に吹くに沖見ればとい波立ち邊見れば白波さわく鯨魚取り海を恐み行く船の楫引き折りてをちこちの島は多けど名ぐはし さみねの島の荒磯面にいほりて見れば波の音の繁き浜辺をしきたへの枕にして荒床にこやせる君が家知らば行きても告げむ妻知らば來も問はましを*玉ほこの道だに知らずおおほしく 待ちか恋ふらむ 愛しき妻らは」

「(前略)美しいさねみの島の磯に仮庵(野宿用)を作っていたら波の音が絶えない磯に倒れている君をみつけた。君の家を知っていたら行ってこの事を告げようものを、君の妻が知つて来たなら言葉をけようものを、道さえ知らず不安で待ち恋うているだろうか。いとしい妻は

*玉ほこ→道の枕詞

この歌は「瀬戸内の難所で見つけた^{むくろ}軀を憐れんで」詠んだ歌である。

当時、旅路の途中でその土地をほめ、死者を弔う歌を詠み自分の旅路の安全を祈る風習がありそれを呪歌という。

この歌に、たまたま「我が漕ぎ来れば」と「漕ぐ」が入っていた。
私は水夫が「漕いで」いるにも拘わらず、「我が」(自分)が「漕ぐ」と詠んでいるように思えた。

「^{むくろ}になろうとも、私は主体的に今回の旅路も、また更に己が人生を歩んできた」と強調しているイメージを感じる。さらにはこの^{むくろ}の妻まで思いを巡らせ、更にはその悲しみまでも共有するかのように詠っているようだ。

あえて、そう詠む背景があったのか。大袈裟に読めば読むほど自分の安全が保障されるかのように。それだけ今回の旅に不安があったのか。

柿本人麻呂自身は、自分のその後の数奇な運命を予感していたのか?

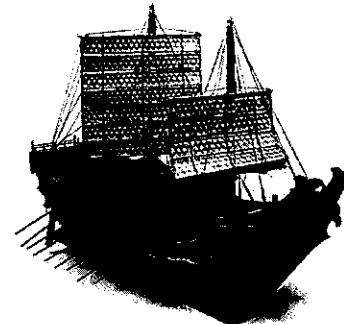
柿本人麻呂の一生がよくわからないだけにミステリアスである。

万葉の頃この辺りは難波津から大宰府へ向かうメイン航路は岡山の鷲羽山付近である。だからここはやや南にズレている。そしてここは以外と風が強く(時つ風が吹く)難所であったと伝えられる。

今でこそ岡山→坂出は、「マリンライナー」が走り瀬戸大橋は20分もかからず渡ってしまう。

2年生の時、鷲羽山の付近に研修センターがありそこで冬季合宿をしたことがある。海岸沿いのきれいな場所だった。

そこではウエイトトレーニング器具を持ち込み、ひたすら山を走り、坂を上り、下り、徹底したサーキットトレーニングをした。
きついが楽しい期間であった。練習の合間に上った山の上から見える瀬戸内海と点在する島々はきれいだった。
同じ景色を向こう岸の坂出から瀬戸大橋付きで眺めることになろうとは。



四国在任中にカーナビ頼りの八十八か所巡りのお遍路さんをスタートさせた。
各札所は深い山の中に多くあり、万葉の原点みたいな祈りと厳肅な気持ちにさせる雰囲気があった。本堂と太子堂で般若心経を唱えながら背中でそれを感じていた。

あの頃は八十八か所巡りの「お遍路さん」ブームで全国あちこちから巡礼者が来ていた。

印象に残った事で、屋島の札所だったと思うが、到着するとすぐ家内が朱印をもらいに走り、私はタバコを吸って済むまで待っていた。(今はもう吸っていません)
そこで巡礼者でしかも歩きの方(歩き遍路は3ヶ月余掛かり尊敬に値する)と話をする機会があった。

「どちらからですか」「東京からです」「歩きは大変でしょう」「これが私にはいいのです」とその人はぽつりと話した。

聞くと「リストラに遭いこの機会に自分自身を見直すためにお遍路を始めました」「家内も快く送り出してくれました」「失礼ですが見直すことはできましたか」[いろいろです]「頑張って下さい」「有難うございますあともう少しです。」と。

ああこの人には乗り越えて欲しいと思わず合掌した。

またある札所で若い巡礼の女性と年配の女性の会話が耳に入ってきた。
その女性は看護婦さんで「担当の患者が亡なり、思うことがあって巡っています。思

わず振りかえって見るとその女性はすごく澄んだ眼をしていた。

その他定年後と思しき夫婦連れが並んでベンチに座りコンビニのお握りをほおばっている風景。いつ何処でご飯を食べられる分からないことがあらかじめ買っておくコンビニの「おにぎり」は便利であった。

また夏休みの期間は「歩き遍路」の高校生・大学生らしき若い人も多く途中でよく見かけた。真っ黒に日焼けして頬もしく思えた。
またその他巡礼者の中には住職になる前の研修みたいな人、一見して接待目当てのホームレス巡礼、かなりの年配に見える巡礼の人はどうもエンドレス巡礼?等、様々な人が門前に野宿している場面に遭遇したり?

一番楽なバスツアーの団体とか、様々な人生が見える感じがした。

巡礼者の持つ杖は卒塔婆替りとなり、巡礼は死と隣り合わせであった。
コース上でもし行き倒れたとしても札所の近いお寺で弔ってもらえる暗黙のルールがある。

さて納め札というのがある、そこに自分の名を入れ、各札所で本堂、太子堂に納める。
今まで何回巡礼したかでその色が違う。

白、緑、赤、銀、金、なんと30回で錦織が許される。まさしく突き詰めれば修行そのものである。

私は^{歩き遍路}(大願成就=88+高野山)までに途中転勤があつたりして足掛け5年も掛った。当然初心者の白色の納め札である。廻り方は真打(1番から88番)でもなく逆打ち(88番から1番)でもなく、とにかく行ける処からという乱れ打ち?であった。

そしてどういうわけか最後の札所は高知県になった。朱印を頂いたその瞬間は結構達成感があった。

そして高野山へ、聞くと「同行二人」とは最初、高野山に御参りして御太子様と一緒に出発することだとか。

その内2回目の「八十八か所巡礼」に再挑戦したいと思っている。

今度も家内はついて来てくれるかな。

万葉「漬ぎ」歌(4)

昭和45年卒 清水正俊

今回は現役時代を過ごした近江が舞台の「漕ぎ」歌に触れる。

153 「鯨魚とり淡海の海を 沖放けて 漕（榜）ぎくる船 辺に付けて
漕（榜）ぎくる船 沖つ櫂いたくな撥ねそ辺つ櫂いたくな撥ねそ若草の
夫のおもふ鳥たつ」 *万葉仮名では（榜）

倭 大后

（近江の海、沖遠く漕ぎ来る船よ、岸近く漕ぎ来る船よ。沖に行く船
の櫂でひどい波をたてるな、岸辺に行く船の櫂もひどい波を立てる
な。夫が愛しんだあの鳥が飛び立ってしまう）

この歌を詠んだ倭 大后 は天智天皇の后である。父と兄を大化革新（乙巳の変）で
殺され、どういうわけかその当事者である天智の后となつたが天智との間に子もなく
薄幸だったと云われる。

そして崩御の際天智を悼んで喪に服し後の立場で下記の歌を詠んだ。

147 天の原振りさけ見れば大君の御命は長く天足らしたり
(広い空を遠く見ると大君のお命は長く天空にみちている)

148 青旗の木幡の上をかよふとは目には見れども直に逢はぬかも
(青々とした木々が茂る木幡山の辺りを魂の行き来が見えるが生きて
いる身ではお会いできない)

149 人はよし思ひ止むとも玉鬘影に見えつつ忘らえむかも
(故人を偲ぶこともやがてなくなるかもしれないが私は美しい髪飾の
ように面影を見続け忘れはしない)

私は夫の御靈と多くの妃（9人+α）へ嫉妬の念を込めて複雑な境地でこの歌を詠
だと思う。ここにある「愛しんだ鳥」とは愛人（妃）たちのことで、夫の愛人のこと
もう思い出したくもない。

ただこの愛人の中に額田王が含まれているかはわからない。またここの「漕ぎくる」
「波」は壬申の乱前夜？で後の回りは混乱しており、近く遠くから寄せてくる「わづ
しさ」「軋轢」等を表しているのではと思う。なお学者にはこの説は存在しない。

その他「鳥」は天皇の魂で「安らかに」と祈る気持ちを込めて詠んだ歌であるとの
はある。

そして元恋人の額田王が崩御を悲しんで詠んだ歌がある。

151 「からむの懷知りせば大御船 泊てし泊りに標結はましを」
(このようにお隠れになる気持ちがわかつていれば泊まつた津に御船を
*標に縛って留めておくものを) *標→船を止める杭

天智の後宮にいた歌人だけにさすがにうまくまとめたという感想である。

次に天智は倭 大后、額田王に様々な歌を詠ませているのに、何故か万葉集に天智
が后たちに詠んだ相聞歌（恋歌）など全くない。当時は一夫多妻の時代であるとはい
え天智は后たちを本当に愛していたのか疑問になる。

しかし愛人とされる鏡大王への一首だけがあるものの肝心の倭大后その他の妃へは
ない。またあったが、訳があって編纂されなかっただけか。

本当のことは誰にも解らない。知るは近江の海のみか。



*鯨魚→くじら…「海」の枕詞 琵琶湖なのに海なのだ

また天智の最後も病を患って身籠ったといわれるが真相は権謀術数が渦巻く古代史
の城を出ずミステリアスで、死因も遺体も不明とされる。

そこで天智の骨が落ちていた山科の場所を陵にしたと云われている。

*京阪「陵」駅下車（今や地下に潜ってしまった）

さらに一説によると倭大后が天智と弘文（大友）の繫ぎの即位をしたとか、壬申の
乱の際、近江宮で最後を遂げたとか云われる。諸説紛々である。その後の【壬申の乱】

を知るものにはこの手の話はワクワクする。

自分で呆れるほど「能書き」を言いたくなるのが万葉集の魅力です。

当時瀬田川には石山寺～浜大津間を定期船が走っていた。小さな船だがその船が通る度に波が立った。

漁船も一緒だが、そのまま漕ぐとまともに波が入るため艇を止め、波が入らないよう波に平行に向きを変え、波をかわしていた。その度に艇はその波に乗りゆらりゆらりと揺れた。

波をやり過ごしてその船が通り抜ける間、よく乗客が手を振ってくれた。

土・日は結構若い女の子もいて手を振ってくれたものだ。今は定期便もなく波止場も旅館もなくなり石山寺前はすっかりきれいになっている。

1年生の時に「一時間ロング」の練習があった。瀬田辺りからスタートし、まず近くにそびえる比叡山を目指し「比叡降ろし」に逆らい膳所城跡をかすめ浜大津を右に見て琵琶湖大橋に向う。そこで大きく舵を右に切り今度は浜大津を左に見て帰ってくる一時間漕である。遠くに霞む比良山にまだ雪が残る春先は、体が温まるまで寒さで手足はしびれたまま、今思えばよく一時間も「ゼイゼイ・はあはあ」と漕ぎ続けたものだ。練習終了後にオールをタオルで拭く時うつすらと氷が付いて剥がれ落ちるくらい寒かった。当時は暖冬とは縁のない時代であった。

それをご丁寧に夏場のシーズン初めまでたっぷりやるのである。

そのおかげで体は「漕ぐ」事をたっぷり覚えてくれた。

ロングを思い出し「琵琶湖周遊歌」を歌いながら琵琶湖周遊もやりたいと思う。

瀬田と琵琶湖にご無沙汰の皆さんこのロマンに浸りに来ませんか。

*当時の通学経路 (I) 唐橋前→京阪三条(京阪)→今出川(市電)

(II) 石山→京都(JR)→同志社前(バス)

万葉「漕ぎ」歌(5)

昭和45年卒 清水正俊

また角度を変えて先人は今では考えられない程のスケールの大きな歌を詠んでいたことについて触れたい。

「漕ぐ」処は琵琶湖と瀬田川だけではないと?

スケールの大きい「七夕」の「漕ぎ」歌(2首)



1068 天の海に雲の波立ち月の船 星の林に漕ぎ隠る見ゆ

柿本人麻呂歌集

[天海丹 雲之波立 月舟 星之林丹 横隱所見]

(天空の海に雲の波が立ち月の船は星の林に漕ぎ入り隠れようとしている)

この歌は万葉集で唯一「星」を詠んだ歌で、星空を海に見立て月を船にたとえた。天、雲、月、星をそれぞれ海、波、船、林にたとえた。

月の船は上弦の月であろうか? では漕ぐオールは? 北斗七星? とにかくスケールが大きく圧倒される。

なおこの歌は英訳されており結構人気があるとか

On the sea of heaven the waves of clouds rise,
and I can see the moon ship disappearing
as it is rower into the forest of stars.

リービ秀雄訳「Manyo Luster 万葉集」

1527 「*牽牛の妻迎へ船漕ぎ出らし 天の河原に霧の立てるは」

山上憶良

【牽牛之 迎孀船 巳藝出良之 天漠原余 霧之立波】

(牽牛が妻を迎える船を漕ぎ出した。天の河原に霧が立ち込めてる
のに)

ここには年に一度会えるという期待感は余りなく、憶良の遠い昔亡くした妻への想いを星に投影させ、距離感のある何か重いものを感じる。「漕ぎ」にパワーが感じられない。憶良に悲しみの歌が多いだけにそう感じるのか。

彦星・織姫の七夕伝説は中国では橋を渡って妻に会いに行くという設定だが、日本では通い婚のためか彦星が船に乗り川を漕ぎ渡って織姫に会いに行くというストーリーになっているとか。

橋も掛けず、わざわざ漕いで行くとは、微笑ましいではないか。

日本の先人達の自然と一体の生き様のスタンスが伝わって来る。

七夕の夜に俄か雨が降った時には、「この雨は漕いだ時のスプラッシュで、その時は焦って漕いでいた」と云われている。

ホンマかいな？

これらの歌は星空を見なくなつて久しい現代人に対し一体何を教えようとしているのだろうか。



高校時代の練習は川だけでなく海も多かった。当然当時はナックルフォアである。2年生の頃新潟国体を控え薄暗くなつても練習を続けた。

満潮で「仄」のなか潮の香りに包まれ、ゆったりとしたうねりの残る中を漕いだ。すっかり暗くなり街の灯りも揺れ出した。その灯りと月灯りを頼りに漕いだ。そしてあるエリアにさしかかる。漕ぐ度に夜光虫が光り四人の漕いだ泡が「ボアッ、ボアッ」と四つの光る輪となつて後ろへ消えていった。この時は漕ぐ楽しさに浸っていた。そ

の幽玄な光景は今でもはつきりと脳裏に焼き付いている。そこは伊勢湾の「阿漕浦」である。今でも光ってくれているのだろうか。

「阿漕」は謡曲で有名である。この浦は伊勢神宮に供える魚を取る所で禁漁区であった。阿漕という漁師が禁断を破り密猟をして罰で海の底に沈められる。それを旅の僧が成仏を願い読経するも救済できなかつたという話である。さらに尾ひれが付き夜な夜な怪しい光が現れるようになったという。この話は後日知つた。それがあの…?

またこの話に関連した供養塔の「阿漕塚」に芭蕉の句碑がある。

《月の夜の 何を阿古木に啼く千鳥》

現在は船の往来が激しく、又夜の練習どころでなく練習場所もかなり南の伊勢寄りの川に変わっていると聞く。

私はあの頃、この阿漕浦も含め近江の瀬田川で幽玄さと歴史とロマンを感じながら「漕げた」ことに改めて感謝したい。

他大学 寄稿文

京都大学ボート部

この度は、部誌「力漕」の発刊、誠におめでとうございます。

瀬田川に於いて年中を通して毎日ロウイングに励む貴部のクルーを拝見するたびに我々関西勢のボートの熱意を感じ喜ぶと共に、我が京都大学ボート部も負けてはいられないと奮い立たされております。しかし我々は昨年度のインカレで満足のいく結果を出せず、非常に悔しい思いをしました。何が足りないのかを考え、インカレで確かに得た経験をもとに日本一への方向をしっかりと定め、常日頃からPDCAサイクルを回し、現在厳しい冬季練習に励んでおります。

これからも頂点を目指す者同士、同じ瀬田川でお互いに競い合って、戸田で満足のいく結果を残せるように頑張りましょう。

京都大学ボート部 主将 大野 弘迪

大阪大学漕艇部

この度は第17号の「力漕」の発行おめでとうございます。貴部におかれましては日々部の向上に尽くされておられるかと存じます。そして我々に寄稿の機会を与えてくださいましたことを大変嬉しく思います。

さて、2009年は当部にとって芳しくない一年となりました。シーズン転換期に「インカレベスト4」を掲げ、練習を積み重ねて参りました。冬季・春季の練磨を通してシーズンへ挑みましたが、年度始めの朝日レガッタを始め、名阪戦、関西選手権、そしてインカレと結果を残せない一年でした。今年度は部全体が本気で「8+インカレベスト4」をいかに狙ってゆくかを考え精進してゆきます。

今年もレースにて勝利を目指して競い合うことになるかと存じます。関西では激しいレースを繰り広げ、インカレでは同じ関西勢の大学として大目標を達成しその名を轟かせられるよう共に切磋琢磨してゆきましょう。

最後になりましたが、今年度も貴部の発展と健闘を心より御祈り申し上げます。

大阪大学漕艇部 主務 繁昌 和也

滋賀大学経済学部ボート部

この度は、部報「力漕」の発刊、誠におめでとうございます。

滋賀経は、減少傾向にあった部員も徐々に増え始めており、いずれは他大学にも負けないような規模・そして戦績を目指していきます。貴部と同様に、我々もインカレを目標に日々の練習を行っております。戸田に目を向ければ、未だ関西勢は関東勢より劣っているという印象がどうしても拭いきれません。どのような違いがあるのかをしっかりとと考え、お互いの部が良い結果を残せるよう切磋琢磨していきましょう。

最後になりましたが、貴部の更なるご発展とご活躍をお祈り申し上げます。

滋賀大学経済学部 主将 居松 洋輔

立教大学体育会ボート部

この度は、部報「力漕」第17号の発行、誠におめでとうございます。ならびに、寄稿のご依頼を頂きましてありがとうございます。

我が立教大学ボート部は、現在男子・女子ともに力を付け始め、少しづつではありますが、強豪校と争うことが出来るようになってまいりました。貴部とは戸田に遠征される際しか顔を合わせる機会がないですが、お互いに切磋琢磨し、インカレ、そして全日本でお互い良い結果を出していきたいと考えております。貴部のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

立教大学体育会ボート部 主将 今長 さくり

山口漕艇部

この度は寄稿文のご依頼を頂き、ありがとうございます。

今年は我が部も、より一層練習に励んで部のレベルアップをしていきたいと思っています。シーズンでは互いに艇を並べることがあると思いますが、良いレースができるよう頑張っていきましょう。

最後になりましたが、同志社大学ボート部のさらなる発展をお祈りいたします。

山口大学漕艇部 主将 小塙 大志

神戸大学漕艇部

この度は部報「力漕」第17号の発刊、誠におめでとうございます。

先日はこちらからのお願いで、The Head of The SETAにて混成エイトを組んでいただき、誠にありがとうございました。他大学の選手と同じ艇で漕ぐという貴重な体験ができ、当部の選手たちも、冬季前のいい刺激になったと思います。

また2月、春、夏には瀬田に赴く予定ですので、ぜひとも合同合宿、合同練習などできればと思います。今後ともさらに交流を深め切磋琢磨していくれば、互いにいい刺激になるのではと思う次第です。

最後になりましたが、貴部の更なるご発展とご活躍を心より願っております。

神戸大学漕艇部 主務 川崎 義人

島根大学体育会ボート部

この度は同志社大学ボート部、部報「力漕」の発行おめでとうございます。また、寄稿させていただき、誠にありがとうございます。

私が部では、今年も昨年以上の結果を出していくために「心技体の強化」を掲げトレーニングを行っています。

貴部とは、関西地区の大会や、戸田での大会で競い合う機会も多いと思いますので、今後もお付き合いの程よろしくお願いします。

最後になりますが、貴部の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

島根大学漕艇部 主将 十倉 宏幸

早稲田漕艇部

この度は、部報「力漕」の発刊、誠におめでとうございます。

みなさんは詩人、宮沢賢司のこの言葉をご存じでしょうか。

「世界全体が幸福でなければ、個人の幸福はあり得ない」

どこかの国の独裁者に聞かせたくなるような言葉です。しかしそれだけではなく、この言葉は今の日本のボート界にとてもよく当てはまる言葉だと感じております。

ボート競技人口の減少が叫ばれる今、我が部でも部員不足に直面し、この問題を肌で感じております。このままボート界が衰退していくのをただ見ているのは、競技に関わるものとして心が痛みます。衰退したボート界でナンバー1になって果たしてうれしいでしょうか。今こそ関東と関西、さらには各地方で活動する大学のボート部が力を合わせこのボート界を盛り上げていくときであると考えます。

「ボート界全体が幸福でなければ、各部の幸福はあり得ない」

この言葉を胸に、貴部と我が部が今まで以上に切磋琢磨し、少しでも今のボート界を盛り上げていけたらと考えております。

早稲田大学漕艇部 副務 長谷川 翼

卒業生の言葉

前主将

千原 第資



同志社大学 商学部 商学科

関西高等学校（岡山）

三菱電機株式会社

はじめに、日片監督、高橋コーチ、松尾コーチ、末廣コーチ、川口コーチならびに艇友会の皆様に心からお礼申し上げます。四年間ありがとうございました。

私は、高校から約7年間ボートを漕ぎ、大学の最上回では主将を務めました。しかし、今はバイトと学校に明け暮れるただの学生です。数か月前まで現役で漕いでいたのが、嘘のようです。この四年間を振り返ると、苦しかった時や嬉しかったことの記憶が蘇ります。そして、ボート生活を通して様々な経験ができたことに感謝しています。

中でも最後のインカレではとても悔しい結果に終わってしまいました。エイトの経験が少なく知識や感覚がわからなかったので、とても苦労しました。『2009年度、エイトでインカレ決勝進出』という目標を掲げたものの惨敗で、応援してくださったOB・OGの皆様、日ごろからご指導して下さった監督・コーチの期待に応えることができなくて、不甲斐ない気持ちでいっぱいです。エイトというものは難しいもので、艇が走ってこのままいけばインカレで勝てると思えば、はたまた艇速が落ちてクルー自体がスランプに陥る時がたびたびありました。たくさんの課題が出る中で、一つの課題を改善しようとすればまた違うところに課題が見つかる。本当に勝つことの難しさを最後の最後で改めて思い知らされました。

最後の試合は満足いく結果ではなかったですが、この四年間同志社大学ボート部でボートを漕げて、充実した大学生活を送れました。いろんな仲間と出会い、最高の指導者に出会い、偉大な先輩に出会い、私は幸せです。今まで結果重視の世界でボートを漕いできましたが、それ以上のものを得ることができました。

最後になりますが、現役部員に一言。自分たちがボートを漕ぐ、指導してもらう、周りからサポートしてもらうことが当たり前のようにならないように、感謝の気持ちを忘れず、ひた向きに頑張ってください。そして、目標に向かってただ練習をするのではなく、先輩、後輩そして同回生としっかりコミュニケーションをとって一致団結することがチームワークに繋がり大きな力になると思います。みんなが意見を言い合える場を作り、日々邁進していくください。ご活躍を期待しています。

前会計

三谷 大輔



同志社大学 工学部 機械システム工学科

奈良女子大学付属中等教育学校（奈良）

大学院進学

はじめに、長い間指導して頂いた日片監督、高橋コーチ、この生活を支えてくださいましたOBの皆様、そして色々と指導してくださった先輩方、大変お世話になりました。また、ボート漬けの日々を支えてくれた両親にお礼が言いたいです。ありがとうございます。ちゃんと卒業します。

1回生の勧誘期間にボートに出会ってから当時はいつ終わるのやらと途方に暮れたこともありましたが、あっという間に最上回になりそして引退てしまいました。この間の生活は今まででは考えられないくらい辛くて、楽しい、非常に濃いものでした。

一般生の同回3人でずっとフォアに乗り続け、初めて結果を出す喜びを知ることができた1年目。遠い存在であった憧れの先輩と艇に乗ることができた2年目。インカレ、全日と決勝に行けず悔しい思いをした3年目。そして、特に全国のレベルの高さを思い知らされた4年目。思い返すと悔しい、辛い思いのほうが多いですがこれら全て自分にとって大切なものになりました。

今まで必死に何かに取り組んだことがなかった自分にとって、このボート部という場所でとても多くのものを感じ、学ぶことができました。本当に貴重な経験をすることができました。ここで得られたものを糧に、目標は変わりますがこれからも自分なりに懸命に物事に取り組んでいきたいと思います。

最後に後輩たちへ。

120周年エイト優勝という壮大な目標がありますが、それをあんまり重荷にしないように自分たちができる事を一つ一つこなしていってほしいと思います。自分たちのやってきたことに悔いだけは残さないようにしっかり楽しんでください。みんなが笑顔で引退できますように。

大沼 茂彬



同志社大学 文学部 文化史学科

京都成章高等学校（京都）

戸田中央総合病院

「自分は少し変な子なんじゃないだろうか。」

小学生の時、なんとなくそう思ったことがあった。中学生の時、薄々気づいていた。高校生の時、はっきりとわかった。

「やっぱり自分は少し変な子で、世間一般に自分がすんなり受け入れられるのは難しいかもしれない。苦労するだろう」と。

2006年春、同志社大学入学。入学後のオリエンテーション期間でいろいろなサークルから次々と声をかけられた。自分は世間一般でいうような世の中というものにはあまり適合しないだろうというのによくわかっていたから、僕はできるだけおとなしい人が多そうなサークルに入りたかった。だから僕のイメージとしては運動部など論外で、できればピアノや能などがしてみたかった。

また当時の僕の夢は、歴史学者だった。志望動機は純粋で簡単だ。子供のころから歴史がずっと好きだったし、大学教授のようなあまり社交性の必要なさそうな世界ならまだなんとか自分は生きていけそうな気がしたから。「人には適材適所というものがある。」そんな思いひとつだった。

さて、そんな僕はどういうわけか、運動部に入ってしまった。これは今思えば何かの運命だったとしか思えない。僕は身体がとても大きいから、文化系のサークルに行きたくても、文科系のサークルの人は僕に声をかけてくれず、逆に自分から文科系のサークルのブースに行こうとすれば必ず「お兄さん身体大きいね」と言って声をかけては自分のクラブのブースに力ずくで連れていいくアメフト部の部員達にその道を阻まれた。

オリエンテーション期間、気づいたらアメフト部員の頑丈な腕の中にいたり、アメフト部のブースで大量のアメフト部員に取り囲まれていることが何回もあったが、僕の心の中はいつも「僕にアメフトなんかできるわけない」という思いでいっぱいだった。

他にもいろんな運動部に声をかけられた。日本拳法、ヨット、ボクシング、空手、航空、少林寺拳法、レスリング・・・・

今思い出してみても格闘技が多かった気がする。なぜだろう??

ボート部も僕に声をかけてくれたたくさんのクラブの中のひとつだった。僕に最初に声をかけてくれたのは一平さんと有木さんだった。今ではもう何を話したのか忘れてしまったが、一つだけ僕が質問して確認したことは「ボート部は少し変な子でも受け入れてくれる」ということだった。

またボート部の人はみんな、勧誘期間中僕の名前を覚えてくれるのがものすごく早かった。そしてどの部員も僕にビラを渡してくれる時に、そのビラを僕がもうすでに

持っているとものすごくテンションをあげて喜んでくれた。さらに試乗会の前日の夜、もうすでに試乗会には行くと言ってあるのに、明日来てくれるかどうか丁寧に確認の電話をしてくれるのだ。僕はそれだけのことが本当に嬉しくて、ボート部は運動部だけれども試乗会に行ってみようと思った。

初めて試乗会に参加した時も部員の先輩たちは優しかった。恥ずかしい話だが、僕はクラブハウスに来るまで試乗会のことをずっと「四条会」という名の京都の四条へんでやる飲み会のことだと思っていたので、滋賀県のクラブハウスを下見して自己紹介が終わると荷物をまとめてすぐ四条に向かおうとしたのだが、僕の勧誘担当と思われる有木さんはそんな僕を止めて、ボートに乗せてくれた。

初めてボートに乗った感想はなんて速いんだろうということと、瀬田川沿いの桜がとてもきれいということ。幸せだと思った。

先輩たちは帰りも丁寧に石山駅のプラットホームまで酔っ払った僕たちを送ってくれた。偶然にも僕はそこでお父さんと会ったので、それから「四条会」ならぬ「試乗会」の余韻に浸りながら、またお父さんと飲みに行って入部を決めた。それから後の「試乗会」は僕が皆勤賞をとったことは言うまでもない。

あれからもう三年半がたった。早いものだ。みんな少しはこんな僕に慣れただろうか? 最初の数年は僕のことを受け入れるのにみんなも苦労したようである。みんなは僕のことを「変わり者」だと言ったが、僕はそれが少なくとも褒め言葉ではないとわかっていたので、そう言われるのが非常に邪魔くさかった。

僕自身このボート部に身を置くことは非常に辛かった。みんなと解り合うことがこんなに難しいことだったかと自問自答する日が何百日もあった。

でも僕はトータルで見てとても幸せな四年間を送ったと思う。なぜなら僕はボートが好きになれたから。なにも最初からボートが好きだったわけではない。ちょっとしたある体験があつて二年生の五月の中旬のある日からボートそのものが大好きになった。ボートは芸術だ。

その日から僕はどんなに辛いことがあってもボートをやめようとは思わなかった。なぜならそこでボートをやめてしまったら自分のボートが好きだという気持ちが全て嘘になってしまうから。誰よりも一生懸命ボートに取り組んだと思う。だからこそ、ほとんど負けたことしかないのが残念なところだけど、試合で負けた時本当に恥ずかしかったし、悔しかった。

最後になりますが、こんなにも密度の濃い生活を送らせていただき、こんな変な人のにお付き合いしてくれた後輩や、同期のみんな、先輩、監督の目片さん、コーチ

の毅さん、ひらまつのおばちゃん、その他の方々には大変感謝しております。

さらに、僕は予定では来年から戸田中央総合病院のボート部で競技を続けられることになりました。こんなに好きなボートを社会人になってもまだ続けさせていただける結果になって、就職活動の際にお世話をしてくれた方々にも本当に感謝しています。

大学では全く活躍できませんでしたが、来年からただのビックマウスで終わらないように精一杯頑張りたいと思います。みなさん本当にありがとうございました。

佐藤 勇樹



同志社大学 社会学科 教育文化学科
上宮高等学校（大阪）

ボート部を引退してゆるりとした時間の中に身を置き生活している。早朝4時20分に起き起こされることはなく、午後モーの内容を見てテンションが下がることもない。6時に起きてニュースを見ながら朝食を食べコーヒーを飲む。学校に行き友達と会い語りが終わればカラオケに行く。バイトをしているので好きな服を買い、たまには合コンをして思い描いた大学生活を満喫している。だが何かもの足りない。「熱いことをしたい。」この一心でボート部に入部した。レースの勝敗で笑い、泣き、落ち込み、怒り、喜び、本当に熱いことをすることができた。上下関係を学び、泥酔し朝起きたら体中ケチャップだらけだったこともある。このような経験はボート部に所属していくなかでたら決してできなかつたであろう。多大な時間とお金を使った。しかし後悔はない。この部に入り本当によかつたと思う。

僕たちは決してそんなに仲良くはないと見られている。たまに衝突し喧嘩になることもあった。しかしいい距離感で付き合うことができている。引退した今、皆各々の生活を送っている。定期的に会ったり飲み会を開くこともなければ、電話することもめったにない。しかし先日三谷から福男参加のお誘いがあったのだが、2つ返事で千原も僕も参加した(大沼は練習があり誘わなかったのだが・・・)疎遠になつても切れない仲間ができたと思う。それがボート部に入り手にしたものでこれから先も財産になるであろう。

最後にボート部には監督、コーチをはじめ先輩、同回生、後輩、様々な方々に迷惑をかけた。今思えば大したことのないことでやる気を損ない、信頼を失う行為もした。

だが総会で引退の言葉を述べ卒業することができた。素晴らしいことだと思う。この部に所属してよかつたと心から思う。また僕に関わってくれた人々に心から感謝しています。本当にありがとうございました。

前 統制 岡 歩美

政策学部 政策学科
滋賀県立守山高校（滋賀）
株式会社滋賀銀行



私がこのボート部に入部したのは、ある先輩の「ボート部だったら本当に充実した日々が送れる。成長の場だよ。」という言葉がきっかけでした。部活を選ぶ際、部活サークルか全く決めていなかった時に、その言葉を聞いて入部を即決しました。入部してからは、マネージャーという仕事に対してあまりやりがいや熱意を持てずにいました。誰かのために目に見えない事をすること、それも数多くいるマネージャーの人であって、自分の存在意義が見出せない中で。そんなマイナス思考で働く私は、部にどつて全くの戦力外だと考えていました。しかし、後輩ができ、役職に就いて、決定権と責任が生まれることでその意識は変わりました。そして当時の自分を振り返り、充実した日々と小さくも自分の成長を感じ始めました。

毎日息を切らせて、全力で練習に取り組み、勝つためにやるしかないという漕手に比べてなんと悠長な悩みだったのだろう。もっと間近で漕手を見て、もっと有効なサポートをしていたならそんな悩みはなかつただろうと後悔もあります。

しかし、今、引退して思えることは、そんな小さな悩みもあったからこそ、同じマネージャーの事を思い、統制という仕事にやりがいを持てたということです。後輩の存在は大きいものでした。私の「誰かのために一生懸命になる」の「誰か」は主に後輩です。そしてそうされたのは、悩みを聞き、元気付けて下さった先輩方、一番近くで支えてくれた同回生です。そしてたくさん苦楽の経験の場をつくって下さったのはOB・OGの方々、監督、コーチです。この4年間本当に多くの人の支えがあつたからこそ、自分達のことに一生懸命になれました。この感謝の気持ちを恩返しにOGとして、今後、同じ道を歩み、ボート部で頑張る後輩達を応援したいと思います。

最後に、本当に素敵な仲間達に出会えて良かったです。勧誘して下さった先輩方、ありがとうございます。これからOGに仲間入りしますので、どうぞよろしくお願いします。

広報 小野 麻衣子



文化情報学部 文化情報学科

松蔭高等学校（京都）

J.フロント リテイリング株式会社

引退して5ヶ月、自分にとって不思議なことが1つあります。昨年の力漕にN先生が書かれたように、ボート部のことを思い返すと「面白かったな」とか「楽しかったな」とか「有意義な経験ができた」とか、いい感情しか思い浮かばないことです。現役時代、悩み事は尽きず、不安、不満、不平をたくさん感じ、あれだけ引退が待ち遠しかったのに、自分自身の気持ちの変化がとっても不思議でなりません。

大学に入って人を支えるマネージャーという仕事を初めて経験し、プレイヤーの立場しか経験したことがなかった私は戸惑うことばかりでした。自分がボート部でやっていることが、何の役に立つかと何度も考えていました。どんどんと、部での戦力となっていく同回の漕手を尻目に、答えの出ない悩みを抱え、やりがいを見つけることができない中で、気がつけば後輩ができていました。そしてそんな気持ちを抱えたまま、同回生同士で問題ばかり起こした2回生の冬がやってくるのです。この時は本当に部活が楽しくありませんでした。こんな時でも、全く退部を考えなかつたのは、こんなことで負けてたまるかという意地、しかしそれ以上に親身に話を聞いてくれて先輩方、こんな私にでも文句を言わずついてくれた後輩達がいたからだと思います。

その後、3回生になり、私が最上回生になるころに私の中で何かが変わりました。何かきっかけがあったわけではありませんが、「せっかくやるんだから前向きに楽しくやろう」と思えるようになったのです。すごく気持ちが楽になり、落ち着いて部のことを考えられるようになりました。自分が最上回生としてしっかりやっていかないといけないという責任感や、自分以上に楽しそうに、そして真剣にマネ業に取り組む後輩達を見て、こう考えられるようになったのかもしれません。

引退して、今1番思うのは、「部員みんなのことがすごく好きやったんやな」ということです。恥ずかしながら、現役時代には紳など意識したことはありませんでした。しかし自分で考えていた以上に部員との絆は深く、ボート部の存在は私の大学生活で大きなウェイトを占めていて、私を大きく図太く成長させてくれました。

このことに引退してから気づいたということが残念でなりません。もっと早くに気

付き、もっとモチベーションをあげてマネ業に取り組めいたら・・・と今更ながら思います。

後輩マネの皆さん、ボート部に入つて悩まないことは絶対ないです。悩むことも仕事の1つと割り切つたほうがいいかもしれません。思考がパンクしそうなときに、気持ちが楽になる魔法の言葉を私はこの3年半で見つけ出しました。せつかくなので伝授したいと思います。

『なるようになるさ』

マネの悩みは答えが出ないものが多いです。これくらいの気持ちで、目の前にある問題に立ち向かうほうが、きっと楽しんで部活動を行えると考えています。ネガティブな気持ちになったとき、参考にしてみてください！

最後になりましたが、私を支えてくださった同回、先輩、後輩、OB・OGの皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。本当に有難うございました。

前艇友会 中川 裕紀奈

同志社大学 政策学部 政策学科

函館白百合学園高等学校（北海道）

(株)スウェーデンハウス

私のボート部での生活を振り返ってみると、本当に人の出会いが財産だったを感じる。

人間関係が密になっているボート部で、自分では気づかなかつた自分自身の至らない所や弱さを知ることが出来た。先輩・後輩を含め、OB・OGの方々との様々な出会いこそが自分の成長に繋がったと実感している。

毎日朝早くからボートの練習に励み一生懸命に取り組む一方で、くだらないことが大好きな漕手の皆と過ごす日々はいつも楽しかった。そんな漕手の皆に対して入部当初は早くマネージャーの仕事を覚えて役に立ちたいと思ったし、上回生になると任せられた仕事を一生懸命に取り組むことで自分の存在意義を見出そうとしていた。とはいってもやはり、取り組みに後悔が無いわけではない。もっと出来たことがあったのだと、反省すべき点の方が多かったように思う。この後悔や反省を含め、自分自身の至

らない点に気づけたことを、今後社会に出て行く上で活かしていかなければいけないと強く感じている。

それでも、レースで見せる漕手の真剣な眼差しとエイトの迫力、マネ部屋やキッチンでのマネージャーとの談笑、ひどい飲み会・・・と、振り返ればきれいな思い出とひどい思い出とが雑多になってはいるが、やはり私は京都にきて同志社に入学し、この同志社大学ボート部に入部したことは間違っていなかつたと確信している。私の学生生活はボート部であったといつても過言ではないと思う。今度は OG としてこの新しいボート部に関わっていくことを楽しみにしている。

最後に、先輩、後輩の皆、本当にお世話になりました。ご迷惑をおかけしてばかりで北海道の人間のイメージが悪くなっていることを願うばかりですが、皆のお陰で楽しいボート部生活を過ごすことができました。ありがとうございました。

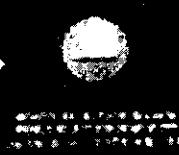
そしていつも応援していただいている OB の皆様本当にありがとうございます。君たちがボート部での活動が出来るのも皆様からの温かいお言葉や、ご支援があってこそです。これからもこの同志社大学ボート部で、様々な人達が出会い、成長していくために今後共変わらないご支援宜しくお願ひいたします。

水と生きる SUNTORY

モンドセレクション 最高金賞の うまさです。

サンタリー

ザ・プレミアム・モルツ



ザ・プレミアム

飲酒は20歳を過ぎてから、飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、絶対に
乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒はなるべく適量です。のんびりとはけいさん。

<http://www.suntory.jp/taisaku/UMC/> サントリー酒業株式会社

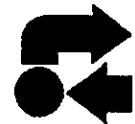


株式会社 王子製作所

船舶用機器装備品・建設機械部品
並びに各種製缶加工・一般建築鉄骨施工

本 社 兵庫県加古郡播磨町新島23番地
電話 加古川 (0794) 37-1600 代
FAX (0794) 35-6181

丸亀工場 香川県丸亀市垂水町2747番地
電話 丸亀 (0877) 28-7004
FAX (0877) 28-5162



DreamGP

Dream Growing Platform
大阪市北区曽原町 11-10 オーキッド中之島ビル 6F

株式会社ドリーム・ジー・ピー

企業を元気にする。

- マネジメントシステム認証取得支援
ISO9000/ISO14000
ISO27000(ISMS)
- 経営コンサルティング
- システム開発
- WEB 製作
- CAD アウトソーシング

株式会社マドック
大阪市浪速区日本橋西 1 丁目 3-19 南海日本橋ビル 1F

夢を育てる会社

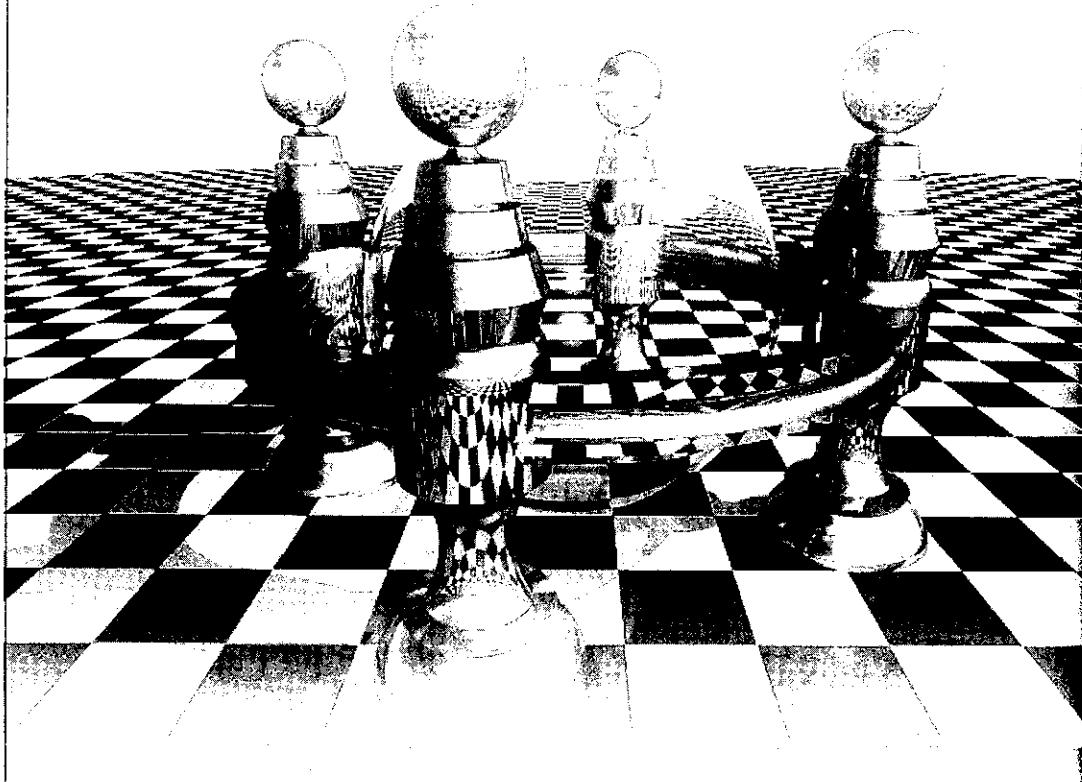
"企業を元にする会社"
MADOC
Management Doctor Corporation, Inc.
www.madoc.co.jp

Nippon Steel & Sumitomo Stainless Steel Company

使う人に喜び、扱う人に希望、作る人に誇り、NSSCはステンレスで社会に貢献します



With



採用に関するお問い合わせは、本社・人事室までお寄せください。

Tel. 03-3276-4800

<http://www.ns-sc.co.jp> nssc 採用ページ リクナウ

新日鐵住金ステンレス株式会社



京阪シルクは京都でちりめんを主とした和装小物・袋物用素材卸会社です。

京阪シルク株式会社

京都市下京区五条西洞院東入

電話 075-351-2340 FAX 075-351-4352

中村印刷株式会社
親和紙器株式会社



本社 〒743-0011 山口県光市光井1丁目15-20
TEL 0833-71-0020
FAX 0833-71-0142

(パンフレット、シール、ビジネスフォーム、チラシ、冊子物、印刷物全般)

あなたがおもな
S1
スペシャリスト達が創る家

Hobby Style®

あなたに あなただけのスタイルを

私たちには、"～ing"の住まいづくりを大切にしています。

"Living(リビング)"とは、生きる(Live)ための"場所"ではなく、生きるための"コト"。ホビースペースでは、単なる生活空間をつくるのではなく、そこに住む人のことを一番に考えています。その空間で何をするのか、どのように使うのか、住む人のライフスタイルにあわせ、"モノ"ではなく"コト"の住まいづくりを提案します。ガレージよりGaragingを、「ガーデン」よりGardeningを、"ing(すること)"、それがホビースタイルの発想の源点です。

<http://www.hobbyspace.co.jp>

株式会社ホビースペース・インターナショナル
 ●本社：東京都大田区南木町3丁目9番4号(本郷S1ビル) TEL 03-5835-4955 FAX 03-5835-4956
 ■設立：昭和57年1月1日
 ■登記簿上本店所在地：東京都大田区南木町3丁目9番4号
 ■登記簿外名：日本全建大建販賣
 ■主な業務：建物販賣、住宅建築
 ■社会貢献活動：日本住宅政策研究会会員、社団法人人材基盤ネットワーク会員、公正取引協議会会員
 ■関連会社：日本住宅木材技術センター、木造住宅技術セミナー
 S55卒 代表取締役 小畠隆一

すくすく
育てる
人のため
の
おもてなし

ずっと支える。もっと独立する。

日本生命

産科機器
SCIENCE

体力科学機器
PHYSICAL SCIENCE

産業科学機器
INDUSTRIAL SCIENCE

八神国際貿易株式会社 THE YAGAMI INTERNATIONAL TRADING CO.,LTD.
 HEAD OFFICE: NO.2-29, 3-CHOME, MARUNOUCHI, NAKA-KU, NAGOYA 460, JAPAN
 YAGAMI TEL: (052) 971-1811 / FAX: (052) 971-1398 / E-mail: yagami@intopia.ne.jp

先端を日常へ

SEKISUI

サプライズ 積水化学

きめ細やかな暮らしのパートナー

住まいの事なら何でも
お気軽にご相談下さい

住まいのトータルプランナー
住宅設計施工デザイン
T&Tデザイン
高橋工務店
滋賀県大津市藤川13丁目16-4
TEL&FAX: 525-8130
携帯: 090-7965-5703

丸山法律事務所
大阪市北区西天満2-10-2
幸田ビル10F
丸山 英敏
TEL 06(6365)6188

料亭 定
AMISADA

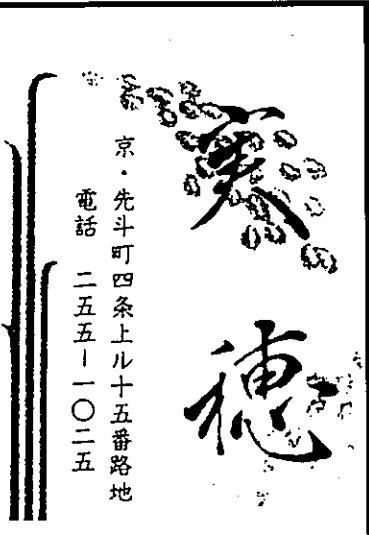
〒520-0031 大津市唐橋町23-1(瀬田唐橋中の島南側)
TEL 077-537-1780 FAX 077-537-1791
<http://www.biwa.ne.jp/~amisada/>
E-mail:amisada@ares.ocn.ne.jp

そば・一品料理
あ づま
吾 嫦

大津市瀬田1丁目19-31
TEL 077-545-0011

セブン-イレブン
お酒・たばこ・ATM
取り扱っております。

大津瀬田西インター店
大津市瀬田3-34-1
077-545-3749



abアースしが

【滋賀県青年会館】

077-537-2753 (代)
〒520-0851 滋賀県大津市唐橋町23-3

薬膳館 中国茶房
喫茶去

〒520-0853 滋賀県大津市塙谷4-45
TEL 077(537)2598 FAX 077(533)5766
<http://www.yakuzenkan.com>



BEAUTY COLLECTION LEAF
jack beans
cut/color/perm/make
TEL 077-537-2358

霞

メニュー豊富・お持ち帰りOK
Tel 077(543)8685

オリジナル・チームウェア・オーダー
CUSTOM ORDER FOR TEAM OR CLUB

EIGHTIE'S 東郷店(守町通り)
<http://www.eighties.co.jp>

TEL 076-231-7484 e-mail >>> kyoto@80-a.jp
FAX 076-231-7602 blog >>> ameblo.jp/kyoto-80/

日本酒とビール・ウイスキーの店
北井酒店

瀬田商店街
0120-45-2113
FAX 43-0220

近江牛焼肉 麗門

大津市栗津町8-1
077-537-3700

カフェ
レストラン **アドリア**

湖岸道路唐橋下ル
TEL (077) 537-1439

FamilyMart

瀬田四丁目店 077-547-3561
滋賀県大津市瀬田四丁目266-1

寺万商店

大津市瀬田2-2-3
(077) 545-0006



神領店 〒520-2132 滋賀県大津市神領3丁目8-5
TEL (077) 547-4411 FAX (077) 547-4412
URL <http://www.super-fresco.co.jp>

鉄鋼・建材・各種ルーフ・ウォール・成型加工
松井金属工業株式会社

京都市下京区高辻通柳馬場東入雁金町162
TEL 075-361-9341

“良い品と一緒に送ろう真心を”
クッキング・デボ **タイハイ株式会社**
京滋・北陸地区 滋賀営業所
〒520-3024 滋賀県栗東市小柿7丁目8-27
077(553)7440

証明写真・¥1000

コマイ写真館

石山・京都信用金庫前
(松原バス停前)
☎(FAX) 537-3122



明治初期、全国に近江牛の名を広めた老舗

近江松崎屋牛 松崎屋

TEL 077-534-1211 FAX 077-537-6201

【広告を随時募集しております】

同志社大学ボート部の部報は広告費から発行費用を頂いております。発行部数は600部、配布対象は本学学生、艇友会員、各企業、一般の方々をなっております。

掲載をご検討して頂ける方は dubc@skyblue.ocn.ne.jpまでご連絡頂ければ広報より詳細をお伝え致します。どうぞご検討の程、よろしくお願ひ致します。

編集後記

皆様のおかげで、今年も「力漕」17号を無事発行することができました。今回は現役特集の内容を一掃し、より多くの方々に楽しんで頂けるよう、漕手の試合中の思いを感じ取って頂けることに重きを置きました。また、新入部員の勧誘を記すことにより、反省点を明確にし、これからの中間増員に貢献出来るよう努めました。この「力漕」17号をご覧になって現役部員をより近くに感じて下されば幸いです。

最後になりましたが、広告掲載にご協力頂いた地元商店やOB・OG企業の皆様、諸先輩方、寄稿文を執筆して頂いた他大学の皆様、岡本部長、日片監督、高橋コーチ、松尾コーチ、末廣コーチ、川口コーチ、そして今年度も心に響く言葉を下さった清水先輩に心より御礼申し上げます。今後とも同志社大学ボート部にご指導、ご声援の程よろしくお願ひいたします。

同志社大学ボート部 広報担当 奥 知里
川島 希紗

同志社大学ボート部 部報「力漕」Vol.17

2010年3月発行

発行者 同志社大学ボート部

〒520-2134 滋賀県大津市瀬田3丁目2-30

TEL 077-545-0702

FAX 077-543-1194

MAIL dubc@skyblue.ocn.ne.jp

広告費掲載料振込先 滋賀銀行瀬田支店 普通預金

口座番号 474219

代表 奥 知里

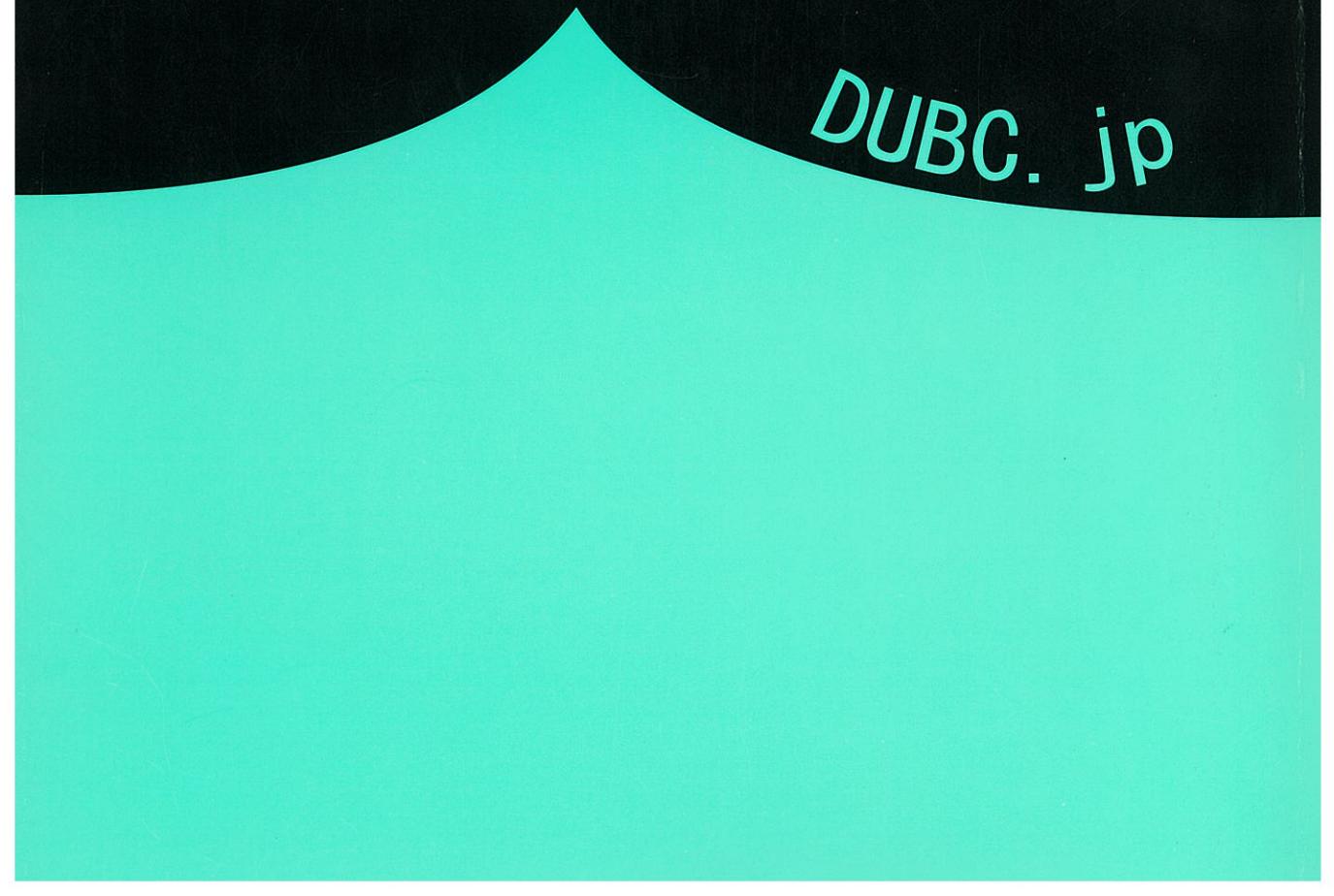
同志社大学ボート部 公式ホームページ

<http://www.dubc.jp/>

※是非一度ご覧下さい！

※相互リンク募集中です！





DUBC. jp